# ユーザーズガイド

大型スキャナ




モデル：**SD One MF**

**UG13119-1G JP SDONEMF Oct 2026**

# 目次

**このガイドについて ... 3**
**スキャナの概要 ... 4**
**スキャナ正面図 ... 4**
**スキャナ背面図 ... 5**
タッチスクリーンインタフェース(スクロールメニュー) ... 6
**インストール ... 7**
スキャナを理解する ... 7
スキャナカバーを開く ... 8
スキャンガラスを確認して清掃する ... 9
**カバーを閉じる ... 9**
スキャナに電源を接続する ... 10
画面とネットワーク接続の準備 ... 11
初めてスキャナの電源を入れる ... 12
**インストールウィザード ... 13**
スキャナのライセンス認証 ... 20
**画面の概要 ... 23**
**スキャナの電源を入れる/切る ... 24**
**主電源スイッチ ... 24**
**スリープモード ... 24**
**原稿の位置 ... 25**
**1 枚または複数の原稿のスキャン ... 25**
**スキャンしてファイルに保存 ... 26**
**基本的な手順 ... 26**
**スキャンデータの保存先 ... 27**
**本体から直接送信する保存先 – USB、メール ... 27**
ユーザーごとのスキャンデータの保存先 – PC ... 28
スキャンしてファイルに保存の設定 ... 29
**スキャンの検証 ... 30**
**Contex LINK スキャンクライアントソフトウェア ... 31**
**コピーを取る ... 33**
**基本的な手順 ... 33**
**コピー設定 ... 34**
**コピーの検証 ... 35**
**基本設定と環境設定 ... 36**
**管理者コンソール ... 37**
**HTTPS接続時の証明書に関する警告 ... 38**
**スキャナのメンテナンス ... 39**
メンテナンスタスク ... 39
スキャンエリアの清掃 ... 39
スキャナの補正 ... 47
ガラスプレートの交換 ... 51
スキャナソフトウェアのアップデート ... 60
**スキャナに関するトラブルシューティング ... 62**
技術サービス ... 62
スキャナの操作に関連する問題 ... 64
スキャン結果に関連する問題 ... 67
**付録 ... 69**
安全に関する重要な注意事項 ... 69
規則 ... 70

# このガイドについて

このガイドでは、大型スキャナの操作および保守の方法について説明します。

このガイドは、読者がコンピュータやオペレーティングシステムに関する基本的な知識を備えていることを前提とし、それらのマニュアルで扱われているような情報には触れません。

**以下の資料を必ずお読みください。**

1. 「*インストール*」セクション – スキャナの正しいインストールおよびライセンス認証方法について説明します。
2. 「*スキャンしてファイルに保存*」および「*コピーを取る*」セクション – スキャナの操作方法について説明します。
3. 「*スキャナのメンテナンス*」セクション – スキャナで最適な結果を得る方法について説明します。

**このユーザーズガイドは、次のモデルを対象とします。**

| スキャナモデル | 説明 |
|---|---|
| SD One MF 44 | 44 インチカラースキャナ |
| SD One MF 36 | 36 インチカラースキャナ |
| SD One MF 24 | 24 インチカラースキャナ |

全シリーズのスキャナモデルがエナジースター®に準拠しています。

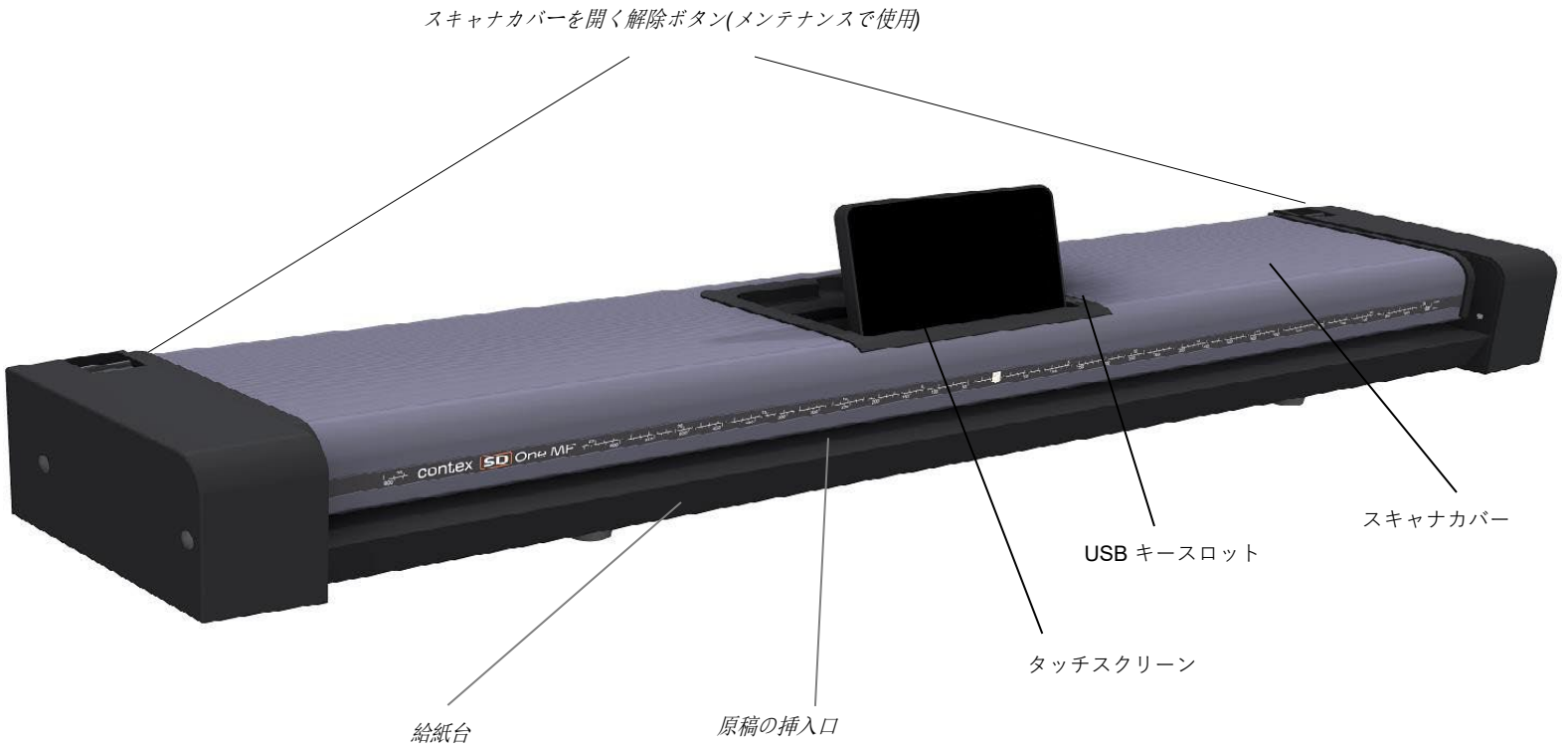
# スキャナの設定



## スキャナの概要

下図：スキャナを使用するために知っておく必要のある部品、ボタン、場所

### スキャナ正面図



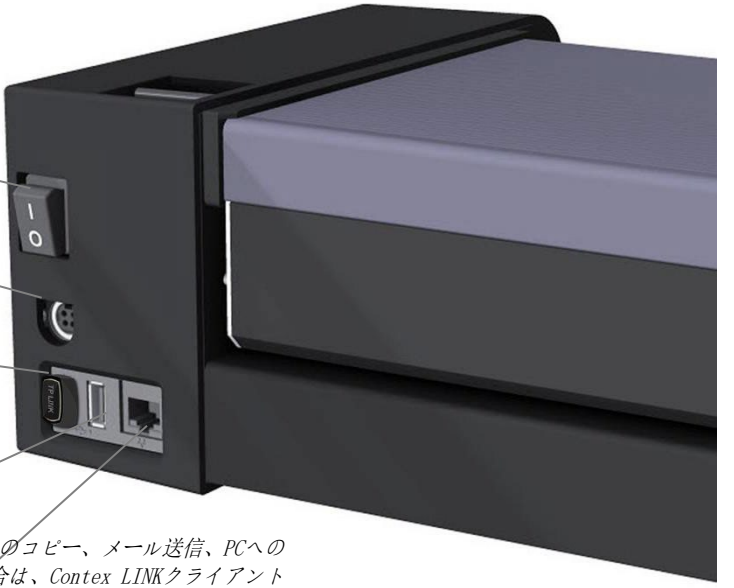
# スキャナの設定



## スキャナ背面図



*電源と接続*



*主電源のオン/オフスイッチ*

*主電源接続ソケット*

*サードパーティ製のソフトウェアおよびテスト目的に使用する USB ポート*

*イーサネットLANポート：ネットワーク上のプリンタへのコピー、メール送信、PCへのスキャンデータの保存に使用します。PCに保存する場合は、Contex LINKクライアントを使用します。*

# スキャナの設定



## タッチスクリーンインタフェース(スクロールメニュー)



***原稿送り***
原稿を前方へ送ります。

***原稿戻し***
原稿を手前に戻します。

***リセット***
状態をリセットし、起動画面に戻ります

***[Go (実行)] ボタン***
必要に応じて設定を変更し、スキャンまたはコピーを開始します。

**スクロールメニュー**
画面を左右にスクロールして、操作を表示・選択します。

# スキャナの設定

## インストール

### スキャナを理解する

以下の手順に従うことにより、スキャナをすばやく簡単にインストールできます。

*スキャナの設置*

### 1 スキャナの設置

スキャナは、特別に設計された独立型フロアスタンドまたは頑丈な台に設置する必要があります。スキャナの後ろには、原稿を通して排出するのに十分なスペースを確保してください。

⚠ ***重要:*** この段階では、スキャナを電源またはネットワーク(LAN)に接続しないでください。

⚠ このユーザーズガイドの終わりにある「安全上の注意事項」も参照してください。

*スキャナの清掃*

### 2 スキャナの給紙トレイを清掃する

スキャナの外側を軽く拭き、輸送中に付着したほこりを取り除きます。清掃は給紙トレイから始めてください。

給紙トレイとは、挿入口の前の平らな面のことです。給紙トレイをよく拭いてください。スキャナの使用を開始する際に、スキャンエリアに原稿とともにほこりが入り込まないように、給紙トレイを清掃します。



## スキャナカバーを開く

*スキャナの清掃*

### 3 解除ボタンを引き上げてカバーを開く

スキャナの梱包および輸送中に内部のスキャンエリアにたまったほこりを拭き取ります。最初に、スキャナカバーの側面の奥側にある解除ボタンを使用して、スキャナカバーを開きます。

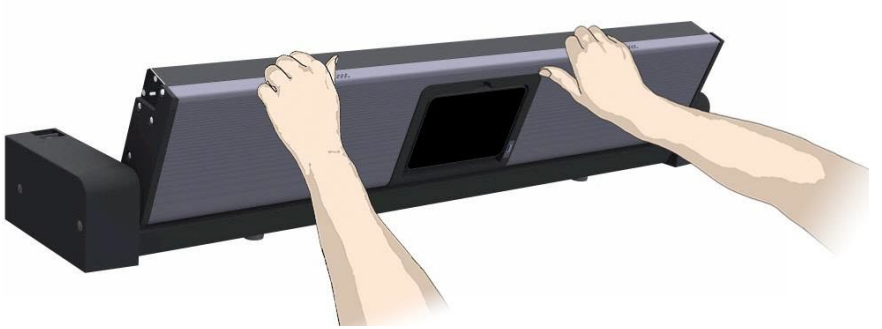
1. スキャナの前に立ちます。
2. 各解除ボタンのロックが外れるまで両方の解除ボタンを指で引き上げます。




*スキャナの清掃*

### 4 スキャナカバーを開く

カバーの端を持って手前に引き上げます。スキャナカバーが止まるまで完全に開きます。



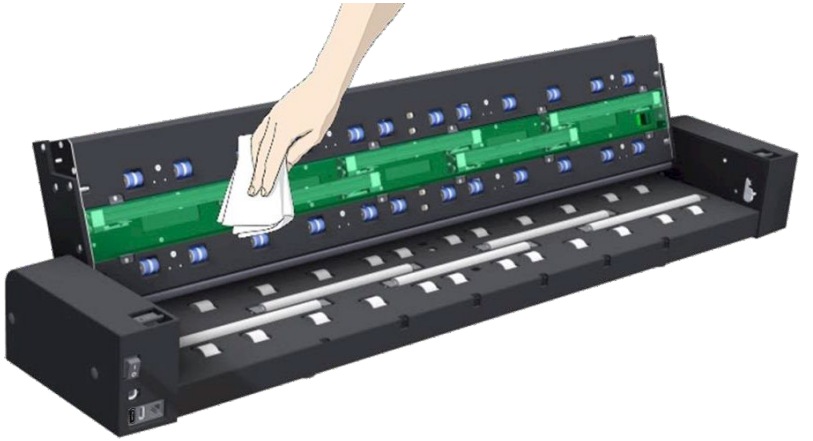
## スキャンガラスを確認して清掃する

*スキャナの清掃*

### 5 内部のスキャンエリアを清掃する

糸くずの出ないきれいな乾いた布を使用して、内部のスキャンエリアのほこりを拭き取ります。

ガラスプレートに汚れが付着していて乾いた布では落ちない場合、このガイドの後半の「*スキャンエリアの清掃*」セクションに記載されたスキャンガラスと周辺部の清掃方法を参照してください。



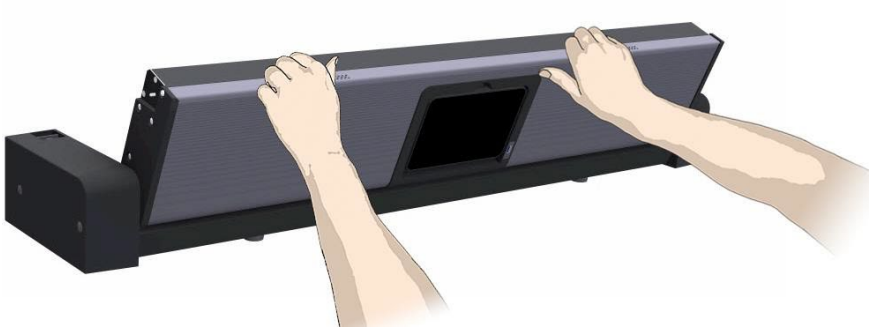
## カバーを閉じる

*スキャナの清掃*

### 6 スキャナカバーを閉じる

内部のスキャンエリアの清掃が完了したら、カバーを閉じます。

1. スキャナカバーの上部に手を当て、両方の解除ボタンがカチッと音がして元の位置に戻るまで押し下げます。
2. 解除ボタンから少し指を離し、カバーを軽く引き上げて、完全に閉まっていることを確認します。



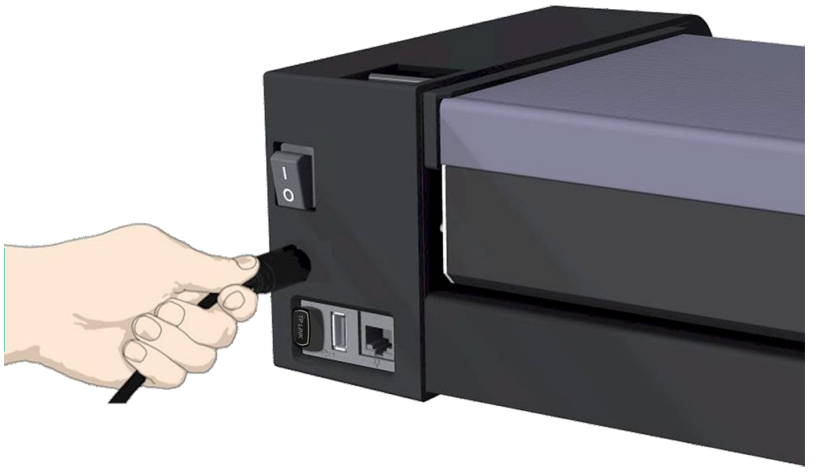
## スキャナに電源を接続する

*電源ケーブルの接続*

### 7 電源コードをスキャナに接続する

電源コードをスキャナの電源接続ソケットに接続します。

コードの平らな面を上に向けて、スキャナの背面にあるソケットにプラグをゆっくり押し込みます。プラグをソケットに無理やり押し込まないように注意してください。



*電源ケーブルの接続*

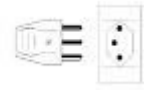
### 8 電源コードを電源コンセントに接続する

スキャナの電源コードの電源プラグを適切な電源コンセントに差し込みます。

⚠ 警告：スキャナには 3 線(ピン)アース端子付きプラグが付いています。プラグがコンセントに入らない場合は、認定電気技術者に連絡してプラグまたはコンセントを交換し、電源を確実にアース接続してください。ユーザーの電気的安全性を確保するため、アース端子付きプラグの目的を無視した使い方をしないでください。







## 画面とネットワーク接続の準備

*タッチスクリーンの準備*

### 9 タッチスクリーンを起こす

スクリーンの上端をつかんで、垂直に立てます。

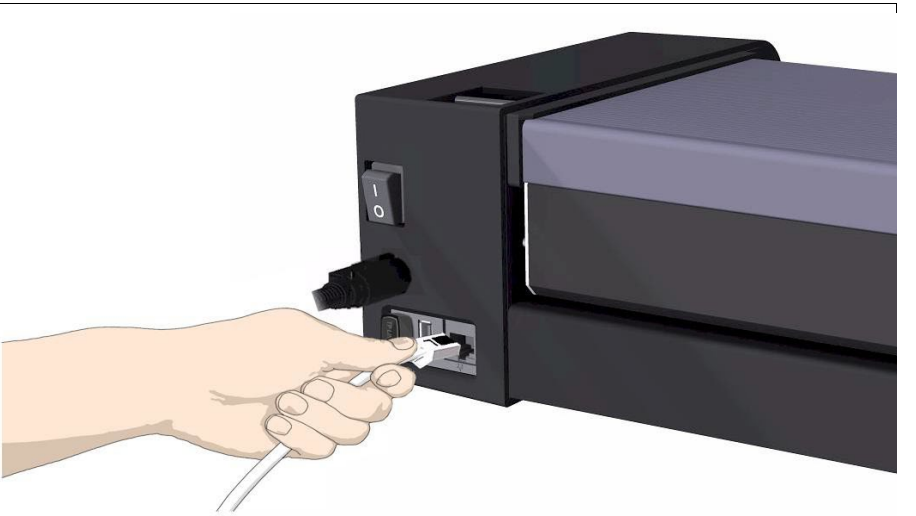



*LAN ケーブルの接続*

### 10 LAN に接続する

スキャナを LAN (ローカルエリアネットワーク)に接続します。LAN ソケットはスキャナの背面にあります。

LANケーブルをスキャナ背面のLANポートとネットワークに接続します。

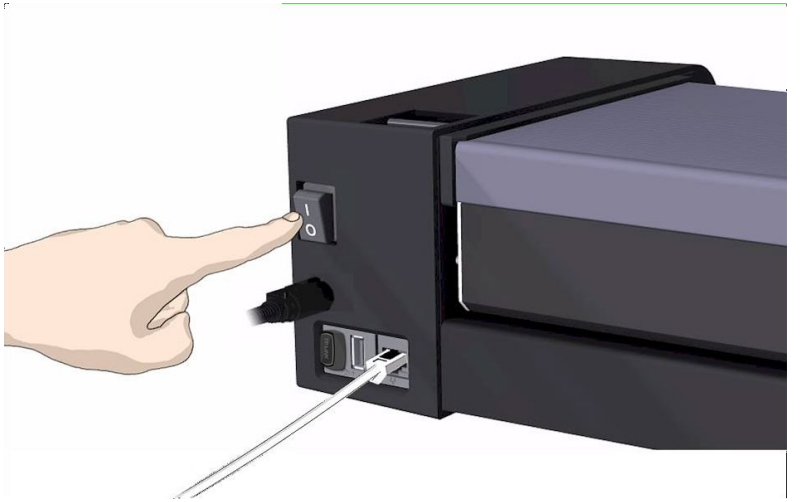


初めてスキャナの電源を入れる

*スキャナの電源を入れる*

## 11 初めてスキャナの電源を入れる

スキャナの背面にある主電源スイッチをオンにします。



**注記：**初めてスキャナのスイッチをオンにすると、SD One MF *ウィザード*により、一連の設定ページがタッチスクリーンに表示されます。

ウィザードでは以下を設定します。

**ネットワーク接続（ネットワーク上のプリンタやPCとの通信に使用）**

**言語**(キーボードと画面を異なる言語に設定することもできます)

**日付**と**時刻**

**電子メールサーバ**設定(電子メールを介してスキャンデータを受信するための設定)

**プリンタ**(コピーに使用)

スキャナの**ライセンス認証**

これらの設定を省略して後で行うこともできます。その場合は、フロント画面の[設定]アイコンをタッチして設定します。

## インストールウィザード

*スキャナのインストール*

**12**

### インストールウィザードが起動する

SD One MFのようこそ画面が表示され、初期設定が始まります。

画面の案内に従って初期設定を行います。完了後も、各ページに記載した設定メニューから変更できます。

次に進むには、[次へ]ボタン(**>>**)を押します。

前の手順に戻るには、[戻る]ボタン(**<<**)を使用します(表示されている場合)。




*スキャナのインストール*

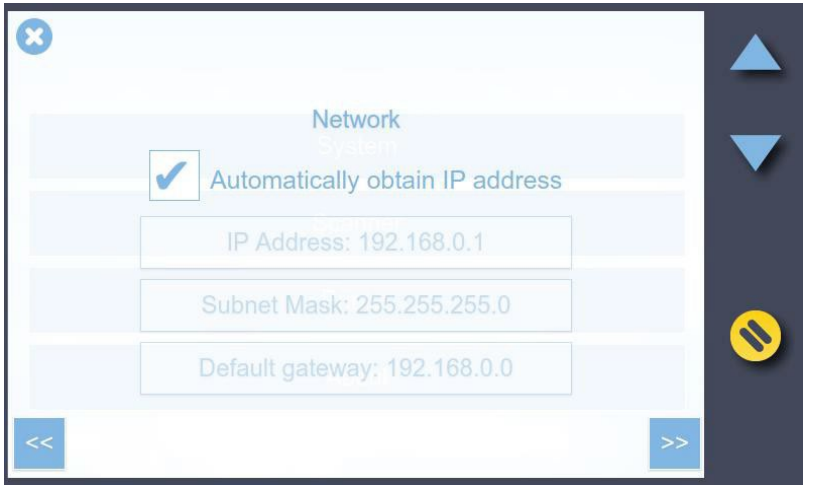
**13**

### LAN ネットワークの設定(DHCP)

LANケーブルが接続されている場合、初期設定ではDHCPを使用してIPアドレスを自動取得します。



**[設定>システム>ネットワーク]**



*スキャナのインストール*

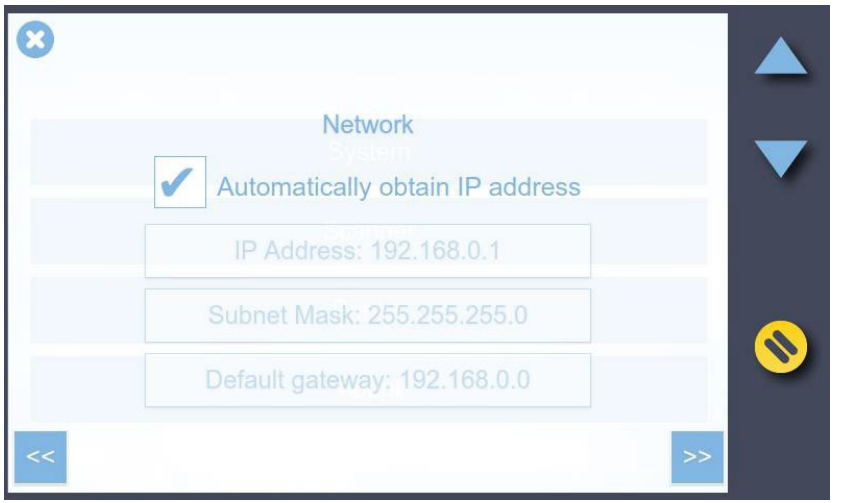
14

## LAN ネットワークの設定(静的)

固定IPアドレスを使用する場合は、以下の設定画面で[IPアドレスを自動取得]のチェックを外し、IPアドレスとサブネットマスクを入力します。設定値はネットワーク管理者に確認してください。

**[設定>システム>ネットワーク]**

[次へ]ボタン(**>>**)を押します



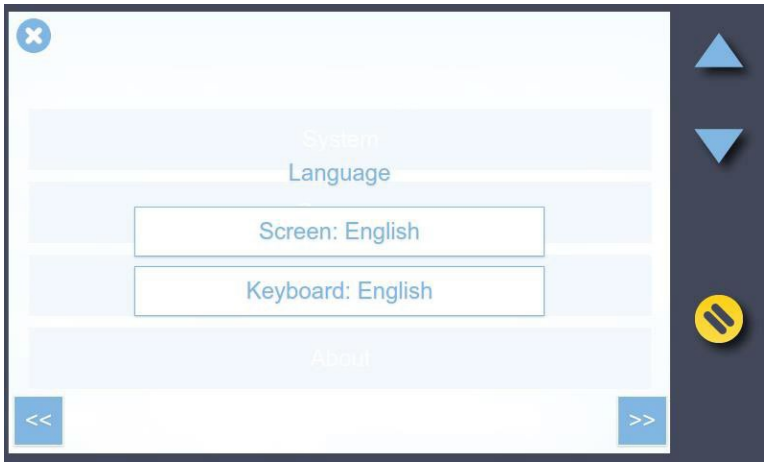
*スキャナのインストール*

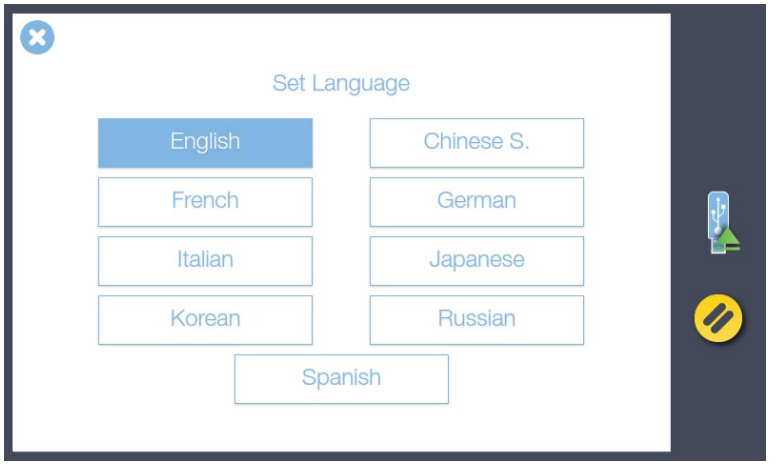
## 15 言語を選択する

画面またはキーボードに使用する言語を選択します。画面とキーボードに使用する言語は同じものにする必要はなく、異なる言語を組み合わせて選択できます。新しい言語を選択すると、現在の設定がアップデートされます。

**[設定>システム>言語]**

[次へ]ボタン(**>>**)を押します



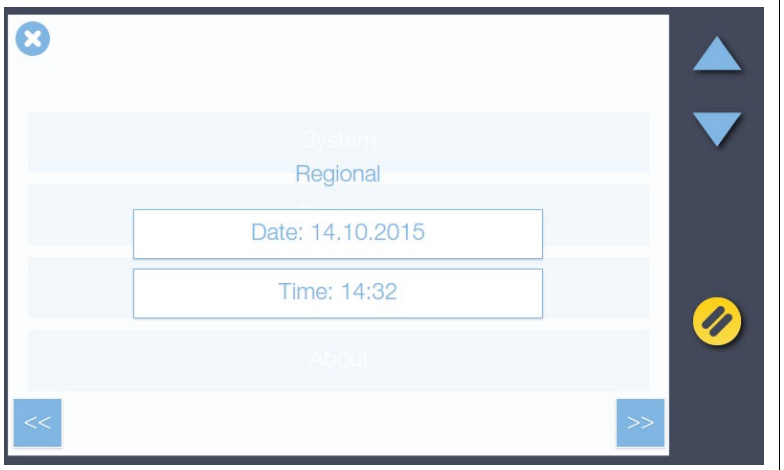



*スキャナのインストール*

## 16 地域の日付と時刻を設定する

1. 日付を設定します。

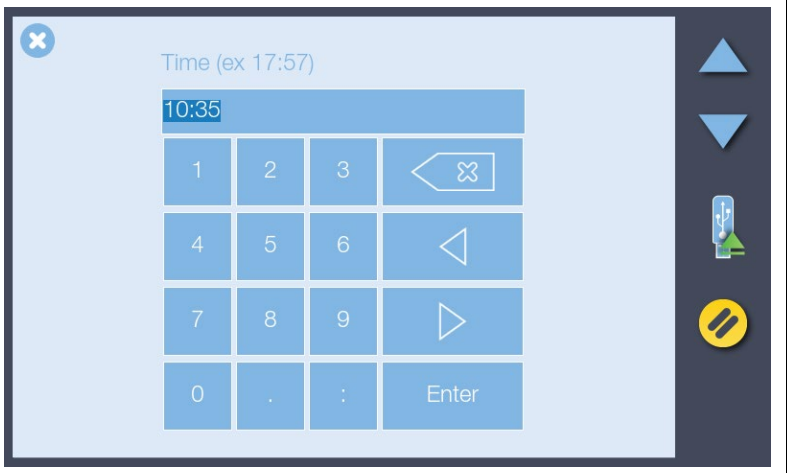
   画面上の[日付]エリアをタッチして数値タッチキーパッドを表示し、今日の日付を「dd.MM.yyyy」(日.月.西暦)の形式で入力します。Enter を押して、値を保存します。




**[設定>システム>地域]**

2. 時刻を設定します。

   画面上の[時刻]エリアをタッチし、数値タッチキーパッドを使用して時刻を 24 時間形式で入力します。Enter を押して、値を保存します。

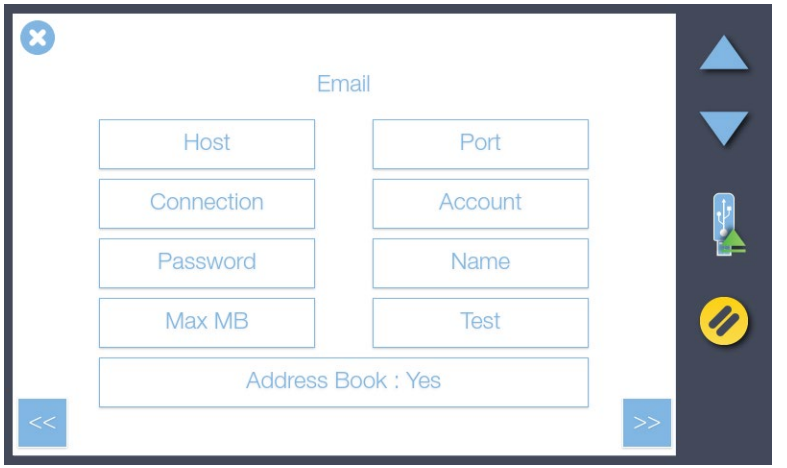



**[設定>システム>地域]**

[次へ]ボタン(>>)を押します

*スキャナのインストール*

## 17 電子メールサーバ設定の入力




スキャンデータをメールで送信する場合は、送信メールサーバーの接続情報を設定します。

1. *[ホスト]*(サーバ名)、*[ポート]*(ポート番号)、および*[接続]*(セキュリティのタイプ)
2. *[アカウント]*、*[パスワード]：送信に使用するメールアカウントの認証情報*
3. *[名前]：メールの送信者名*
4. *[最大 MB]* - サーバで許容される電子メールの最大サイズ(添付ファイルを含む)
5. *[テスト] - ここで入力した電子メールアカウント設定を確認します。*
6. *[アドレス帳]：[はい]にすると、入力した宛先メールアドレスが保存され、次回から選択できます。*

**[設定>システム>電子メール]**

注記：サーバーへの接続・認証方法や必要な許可設定は、メール管理者またはサービス提供元に確認のうえ実施してください。

インストール時はこの手順を省略し、後で必要なときに行うこともできます。

[次へ]ボタン(**>>**)を押します

# スキャナの設定



*スキャナのインストール*

## 18a プリンタを設定する

1. *[セットアップ]*を押して、コピーを取るプリンタを選択して設定します。
2. プリンタのIPアドレスを入力して、プリンタを検索します。設定値はネットワーク管理者に確認してください。
3. *[プリンタマージンの補正]を有効にすると、プリンタの印刷できない領域を考慮してコピーを調整します。*
4. *[メディアプロファイル]*ボタンを押して、メディアプロファイルウィザードを起動します。

プリンタで使用するすべてのメディアタイプについてメディアプロファイルを作成する必要があります。メディアプロファイルにより、最適なカラーコピー結果が得られます。

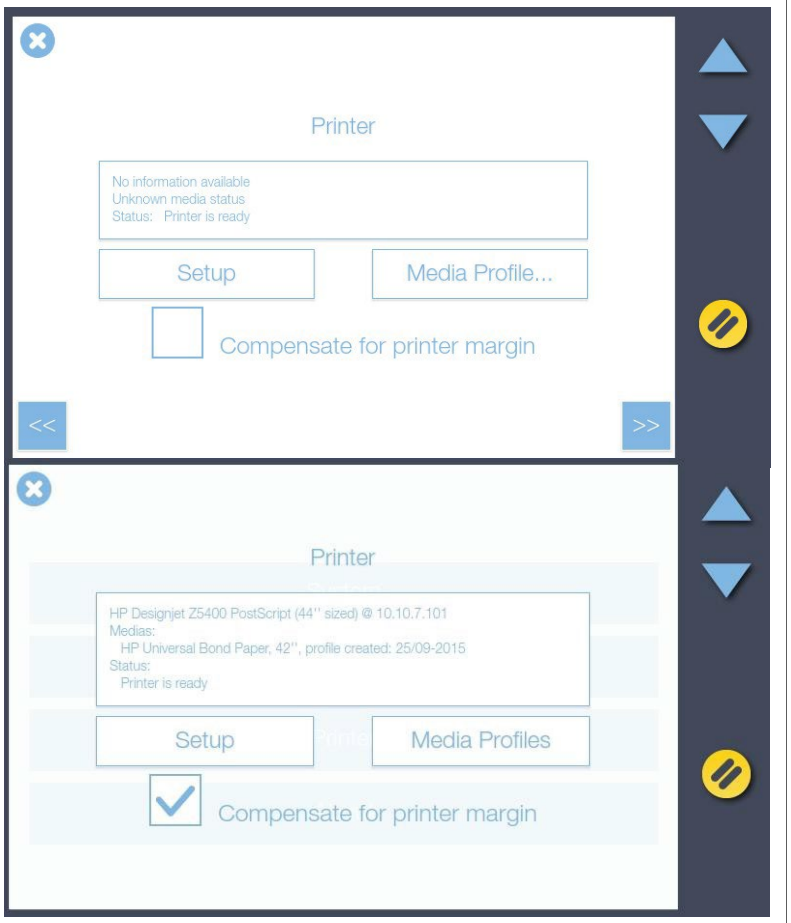
[次へ]ボタン(**>>**)を押します



**[設定>システム>プリンタ]**



**注記：**Epson 製プリンタの場合は、プリンタのコントロールパネルでプリンタにロードされているメディアタイプを選択してから、スキャナメディアリストに表示されるメディアの中から同じメディアタイプを選択してください。最適なコピー性能を得るには、スキャナで選択したプロファイルのメディアタイプをプリンタにロードされたメディアタイプと一致させる必要があります。



*スキャナのインストール*

## 18b プリンタのメディアプロファイルを作成する

手順 1

[プリンタ]画面(前のページ)の[*メディアプロファイル*]を押して、プリンタにロードされている現在のメディアタイプを選択します(この例では[普通紙])。

手順 2

ここで、*[印刷]*ボタンを押して、カラーキャリブレーションページを印刷します。この操作でプリンタが正常に機能していることが重要です。

手順 3

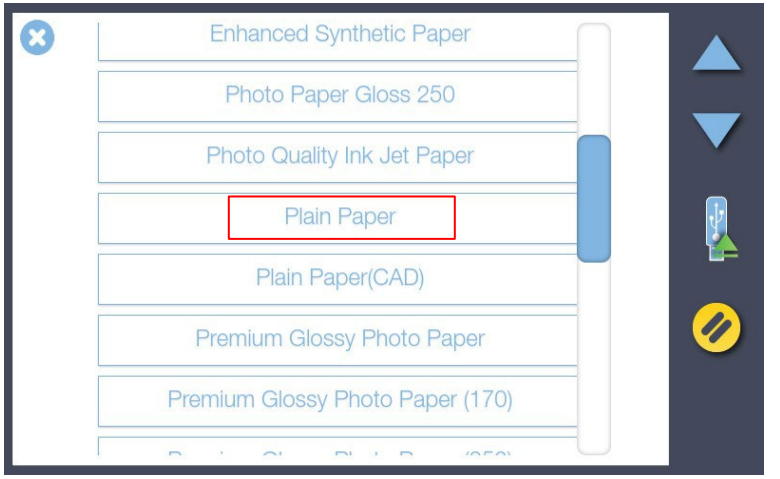
黒の矢印をスキャナの中央のロード位置に合わせるように注意しながら、印刷したカラーキャリブレーションページをスキャンに取り込みます。ここで、*[スキャン]*ボタンを押して、印刷したカラーキャリブレーションページをスキャンします。

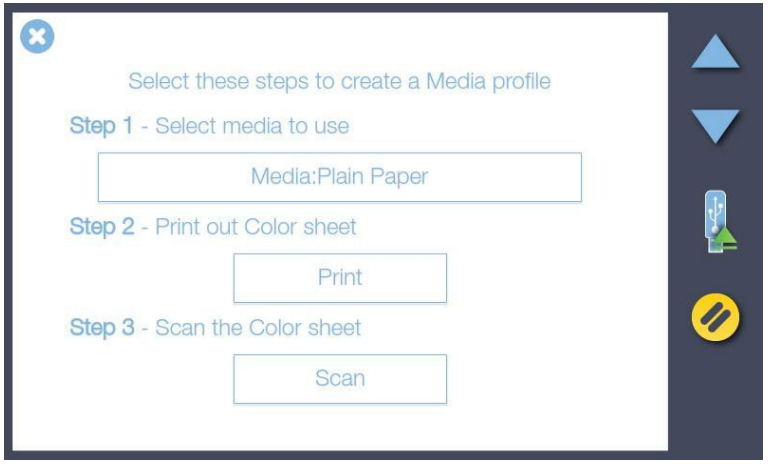
手順 4

*[Media Profile Created (メディアプロファイルが作成されました)]*というメッセージが表示されたら、[OK]を押します。

コピー先のプリンタで使用する用紙の種類ごとに新しいプロファイルを作成します。

**注記:** キャリブレーションページが見つからないことがスキャナから通知された場合は、キャリブレーションページをリロードして[スキャン]ボタンをもう一度押し、このプロセスを繰り返します。



# スキャナの設定

## スキャナのライセンス認証

*スキャナのインストール*

### 19 製品改善プログラムに参加する

今後のアップデートによるシステムの改善にご協力ください。*[製品改善プログラム]*オプションを選択した場合は、スキャナ性能に関するデータの収集に同意されたものとします。個人の連絡先情報は収集いたしません。

[次へ]ボタン(>>)を押します

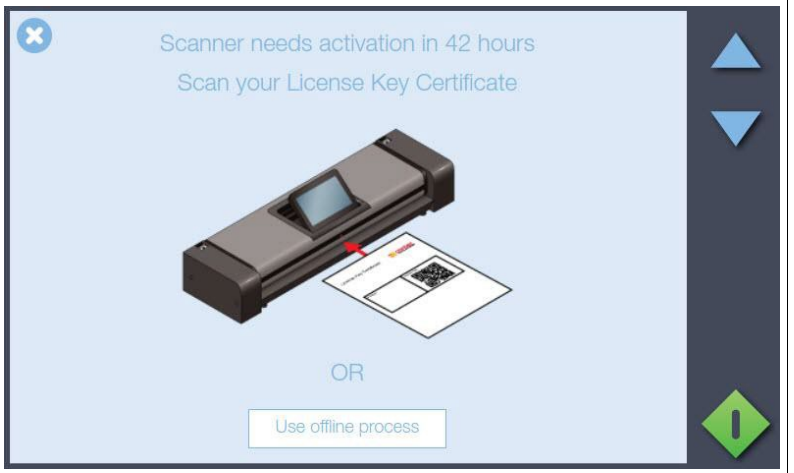



*スキャナのライセンス認証*

### 20a スキャナのライセンス認証を行う

このスキャナを使用するには、まずライセンスキーを使用して認証する必要があります。これは、スキャナのネットワーク接続を使用すると簡単に行うことができます。

1. スキャナがネットワークに接続されていることを確認します。
2. ライセンス認証シートを手元に用意します。ライセンスキーは QR コードに埋め込まれており、スキャナによって読み込まれます。
3. シートをスキャナにロードしてスキャンボタンを押し、スキャナのライセンス認証を行います。
4. ライセンス認証シートでスキャナをライセンス認証できなかった場合は、オフラインオプションを使用して手動でライセンスキーを入力してください。



*スキャナのライセンス認証 - 手動*

## 20b オフラインでのスキャナのライセンス認証を行う

スキャナがネットワークを介してインターネットに直接接続されていない場合は、手動でスキャナのライセンス認証を行うことができます。インターネットに接続できる別のデバイスまたはコンピュータが必要になります。

1. *ライセンスキー*を用意してから、処理を続けてください。ライセンスキーをお持ちでない場合は、販売代理店に問い合わせてください。
2. 手動のライセンス認証では、販売代理店からのライセンスキーとスキャナのハードウェア ID を使用して、オンラインの Web インタフェースで認証コードを生成します。
3. インターネットデバイスのブラウザを使用して、以下の手順に従います。

   (インターネット デバイス側での手順)

   www.licenseactivate.com を参照します。

   #1 スキャナのシリアル番号またはハードウェアIDを入力します。

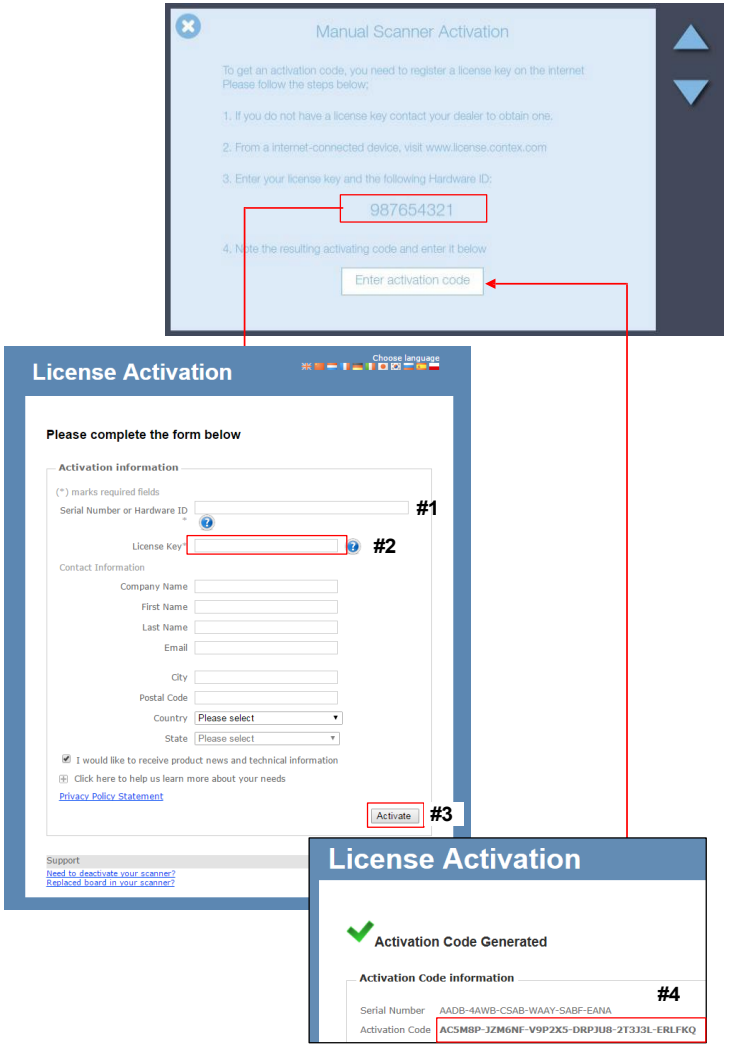
   #2 ライセンス キーを入力します。

   #3 [認証]ボタンを押して認証コードを生成し、そのコードを書き留めておきます。

   (スキャナ側での手順)

   #4 [手動でのスキャナのライセンス認証]画面にあるボックスに認証コードを入力したら、[OK]を押します。

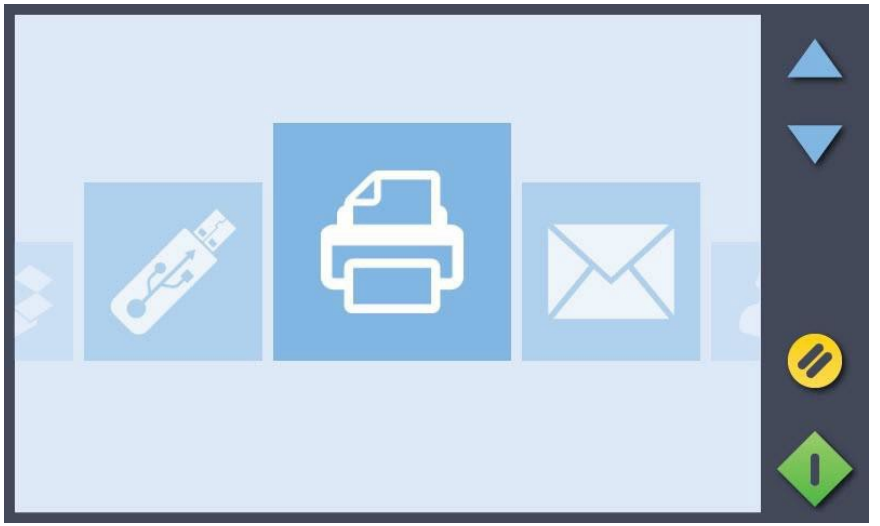
**スキャナシステムのライセンス認証が行われます**

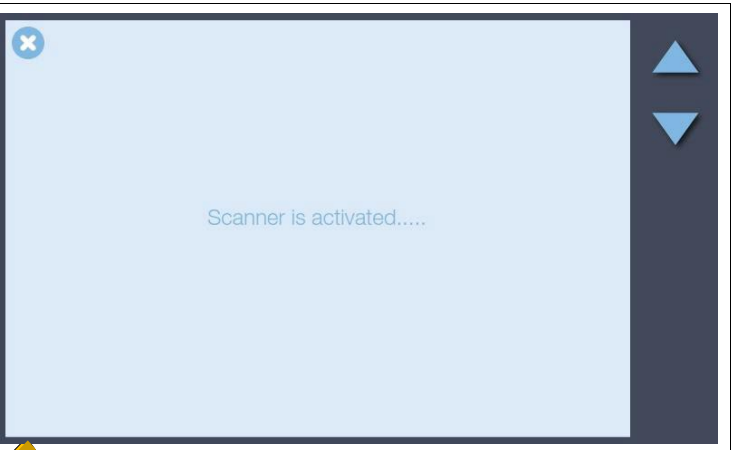


*スキャナのインストールとライセンス認証*

## 21 インストールとライセンス認証が完了しました

スキャナが正しくインストールされると、[スキャナは認証されています]というメッセージがしばらくの間画面に表示された後、さまざまなスキャナオプションが表示される通常の起動画面に切り替わります。





## 画面の概要

スキャンデータは、USBメモリー、メール、PCに保存・送信できます。PCに保存する場合は、Contex LINKを使用します。

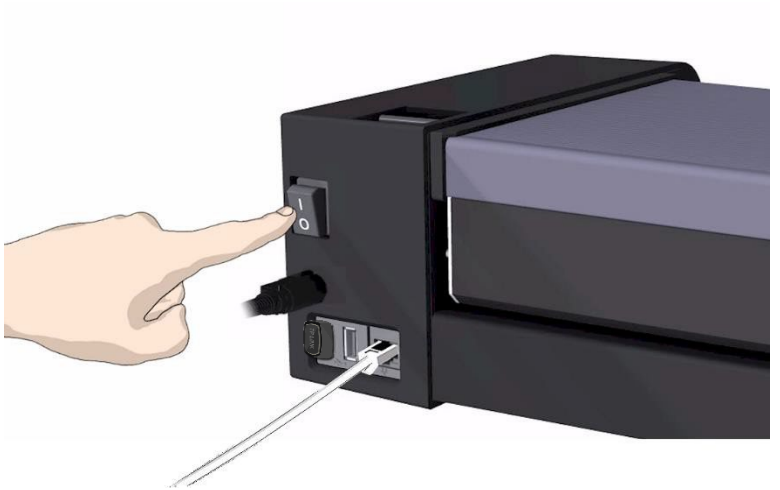
| 設定 | コピー | USBメモリー | メール | PC / ユーザー |
|---|---|---|---|---|
| 本体・ネットワークなどを設定します。 | ネットワーク上のプリンタへ出力します。 | USBメモリーに保存します。 | 指定した宛先に送信します。 | Contex LINKを設定したPCに保存します。 |

# スキャナの電源を入れる/切る

## 主電源スイッチ

主電源スイッチはスキャナの背面にあります。

- スイッチの上側(“I”と書かれている側)を押すと、主電源がオンになります。
- スイッチの下側(“0”と書かれている側)を押すと、主電源がオフになります。

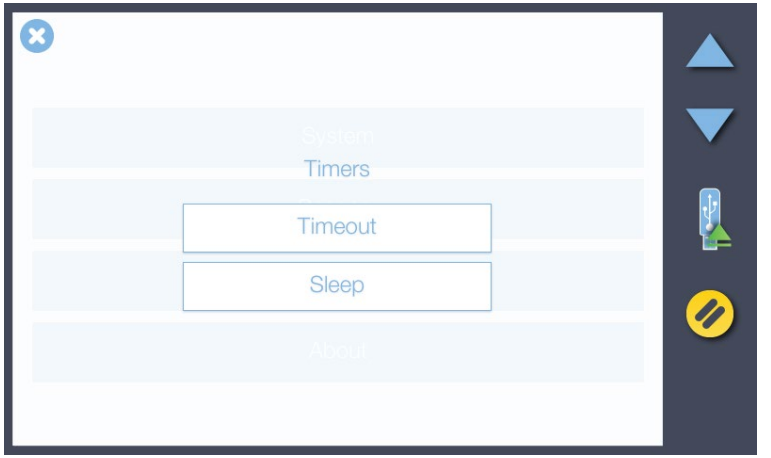


## スリープモード

*スリープ*モードは省電力モードです。*スリープ*モードでは、スキャンを行うことはできません。スキャナに初めて電源を投入した時点では、事前に設定された非アクティブ時間(待機時間)が経過したときに自動的に*スリープ*モードに移行するように設定されています。この非アクティブ時間は、通常のワークフローに合わせて増減できます。

1. スクロールして[設定]ボタンを選択します。
2. *[システム]*、*[タイマー]*の順に選択します。
3. *[スリープ]*ボタンを押して待機時間を設定します。

**注記：**スキャナの主電源はオンになっているが、スリープモードである場合は、原稿を挿入するとスキャナが起動します。




**注記：[タイムアウト]は省電力機能ではありません。指定した時間操作がないと、画質、ファイル形式、カラーモード、スキャン範囲の設定が初期値に戻ります。**

## 原稿の位置

スキャンする面を上にして原稿をスキャナの中央に合わせる

1. 原稿は、印刷面を上に向けて挿入します。
2. 原稿の中央をスキャナの給紙トレイの上にある三角矢印に合わせます。
3. 原稿を挿入口からローラーに当たる位置まで差し込みます。
4. 原稿がスキャナに引き込まれ、スキャンを開始する位置まで自動的に移動します。

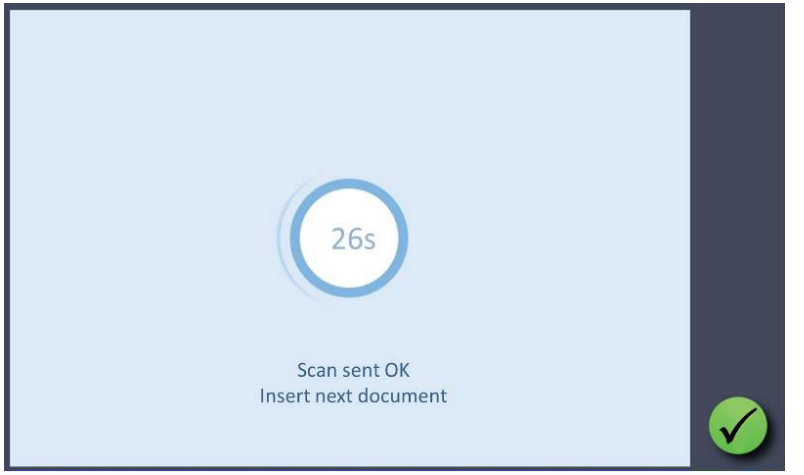


5. 原稿の印刷面を上に向けて挿入します。原稿を両手で持ち、原稿の中央をスキャナの中央のマークに合わせます。

## 1 枚または複数の原稿のスキャン

「準備完了」状態のスキャンシステムを使用する

1. すべて同じスキャン設定を必要とする類似の原稿が複数ある場合は、緑のボタンをタッチしなくても、それらの原稿を連続してスキャナにロードできます。
2. スキャナが「準備完了」モードで稼働し続けるように、カウンタがゼロになる前に次の原稿を挿入します。
3. 以下の場合に緑のボタンをタッチします。
   - すべての原稿が完了した場合
   - スキャンを 1 回だけ行う場合
   - スキャン設定を変更する場合



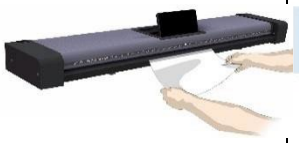
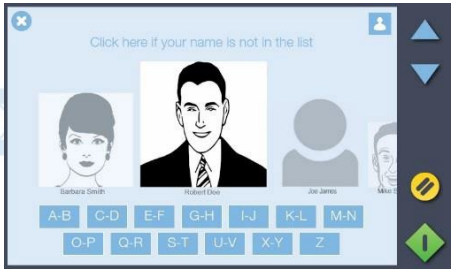

4. スキャナは以下の場合にトップメニューに戻ります。
   - 緑のボタンを早めにタッチした場合
   - 残り時間がゼロに達した場合

# スキャンしてファイルに保存

## 基本的な手順

スキャンデータは、USBメモリー、メール、PCに保存・送信できます。

ここでは、スキャンの設定方法と送信方法について説明します。

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |
| 原稿を挿入する<br><br>スキャンする面を上にして原稿をスキャナの中央に合わせます。<br><br>「原稿の位置」を参照してください。 | スキャンデータの保存先を選択する<br><br>USBメモリー、メール、PCから保存・送信先を選択します。<br><br>「*スキャンデータの保存先*」セクションを参照してください。 | ユーザを選択して PIN*を入力する<br><br>PCに保存する場合は、Contex LINKを設定したユーザーを一覧から選択します。<br><br>*PIN は、Contex LINK のユーザによって設定される場合のみ必要になります。<br><br>「*Contex LINK スキャンクライアント*」セクションを参照してください。 | スキャン設定を選択する<br><br>原稿のタイプ、スキャン品質、ファイル形式を選択するか、または緑のボタンを押して単純にデフォルトの設定を使用します。<br><br>詳細については、このセクションを参照してください。 | ボタンを押す<br><br>緑のボタンを押してスキャンを開始します。 |

## スキャンデータの保存先

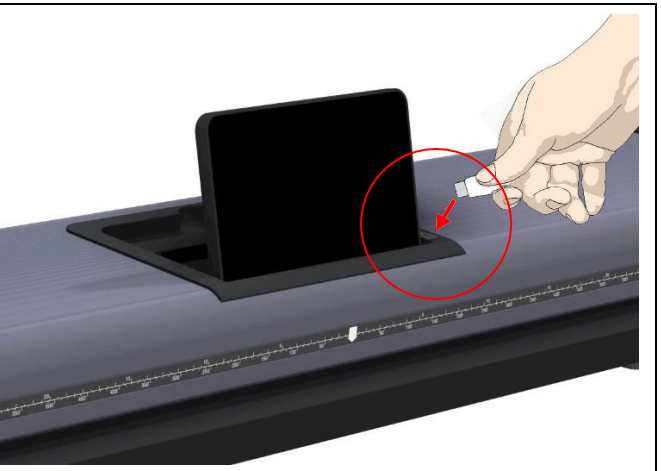
保存・送信先には、USBメモリー、メール、Contex LINKを設定したPCを使用できます。PCに保存する場合は、画面でユーザーを選択します。

### 本体から直接送信する保存先 - USB、メール

#### スキャンして USB に保存

スキャンファイルを USB メモリスティックに保存します。

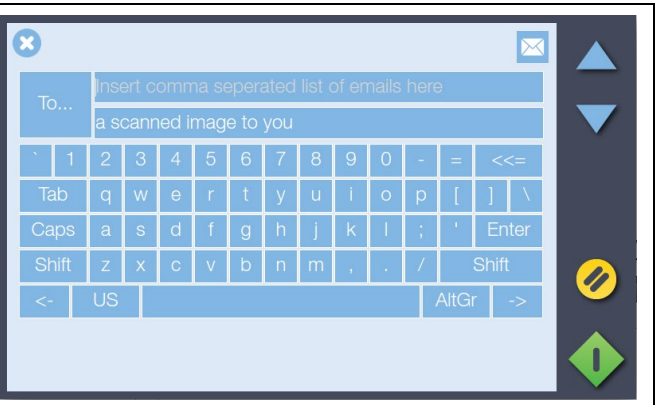
1. USB スティックをスキャナ上部にある USB スロットに差し込みます。
2. スクロールメニューで USB メモリスティックのオプションを選択します。
3. 設定を選択して、スキャンボタンを押します。メモリスティックに保存する場合、常に DCIM フォルダがデフォルトの場所になります。
4. スキャン後は、画面に[安全な取り外し]ボタンが表示される場合、そのボタンを押してからUSBメモリーを取り外してください。



#### スキャンして電子メール送信

スキャンデータを任意の電子メールアドレス宛てに送信します。

1. 電子メールオプションを押します。
2. オンスクリーンキーボードを使用して、宛先の電子メールアドレスを入力します。
3. 設定を選択して、スキャンボタンを押します。




**注記：事前に送信メールサーバーを設定してください。サーバーへの接続・認証方法や必要な許可設定は、メール管理者またはサービス提供元に確認のうえ実施してください。「電子メールサーバ設定の入力」も参照してください。**

## ユーザーごとのスキャンデータの保存先 － PC

**以下の保存先を使用する場合は、Contex LINK クライアントソフトウェアをインストールし、PC で正しく設定する必要があります。PC とスキャナは同じネットワーク(LAN)上にある必要があります。**

PCにContex LINKをインストールして設定すると、スキャナが同じLAN上のPCを検出し、ユーザー一覧に表示します。ユーザーを選択して、そのPCにスキャンデータを保存できます。PINを設定している場合は、選択時に入力します。

**注記：設定方法は「Contex LINK スキャンクライアントソフトウェア」を参照してください。**



### スキャンして PC に保存

1. スキャナで、ユーザアイコンを選択し、リストから自分自身または他のユーザを選択します。
2. PIN コードの入力を求められたら入力します(注記：*PIN は、Contex LINK のユーザによって設定される場合のみ必要になります)。
3. スキャンの設定を行い、スキャンします。
4. PC にあるスキャンデータを探すには：
   a. PC で、システムトレイにある Contex LINK アイコンを押し、Contex LINK スキャンクライアントを開きます
   b. Contex LINK スキャンクライアントインタフェースの上部にあるフォルダアイコンを選択し、PC/ユーザに送信するスキャンデータを検索します

## スキャンしてファイルに保存の設定

| 設定 | 説明 | |
|---|---|---|
| **原稿** | **スキャンする**<br>**原稿の種類** | |
| | フルカラー | カラー写真、ポスターなど |
| | グレースケール | モノクロ写真やグレーの濃淡がある画像 |
| | カラーCAD/GIS | カラーの線画または地図 |
| | グレースケール CAD/GIS | モノクロの線画または地図 |
| **画質** | **スキャン解像度を決定します**<br>高速：低解像度でスキャンします。<br>標準：一般的な用途に適した解像度です。高品質：高解像度でスキャンします。読み取りに時間がかかります。 | |
| **面積** | **スキャナのキャプチャ領域を決定します**<br>自動　スキャナによりサイズが自動的に検出されます。<br>全て　スキャナの最大幅でスキャンします。 | |
| **形式** | **出力ファイルの種類：TIF、JPG、PDF、PDF/A** | |
| ***検証*** | **保存前にプレビューを表示し、トリミングや注釈の追加を行います。**<br>はい　プレビューを表示します。<br>いいえ　プレビューを表示しません。<br>*A. SELECT：編集する注釈を選択します。*<br>*B. CROP：緑の枠をドラッグして範囲を指定し、緑のボタンで確定します。*<br>*C. DRAW – フリーハンドの線とマークアップを追加します。*<br>*D. TEXT – イメージにテキストを追加します。* | |




変更メニュー：*原稿のカラー*、*スキャンエリア*、*スキャン品質*、*ファイル形式*、およびスキャン検証オプション。




原稿をスキャンしファイルに保存するための*[フルカラー]*(*上図で選択*)、*[白黒グレースケール]*、*[カラーCAD/GIS]*、および*[白黒グレースケール CAD/GIS]*オプション。

**スキャンの検証**

保存前にスキャン画像を確認し、トリミングや注釈の追加を行います。

緑の実行ボタン：編集した画像をファイルに保存します。

×ボタン：スキャンをキャンセルします。

選択：変更・削除する文字やフリーハンドの線を選択します。

トリミング：枠の外側の画像を削除します。

線の描画：フリーハンドの線を追加します。

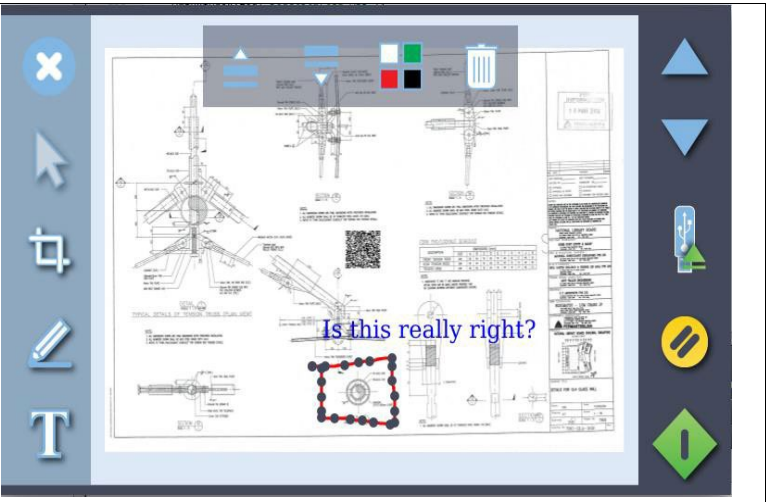
文字の追加：画像に文字を追加します。

注釈を選択すると、編集用のツールが表示されます。線の太さ、文字の大きさ、色を変更したり、選択した注釈を削除したりできます。

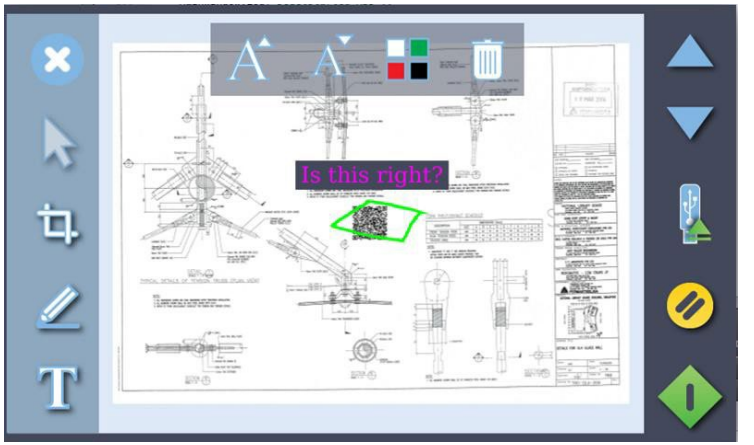


線を太くする　線を細くする　文字を大きくする　文字を小さくする　文字・線の色を変更　削除

**注記：緑のボタンで確定すると、編集内容が保存画像に反映されます。画面を閉じた後は、元に戻せません。**




*スキャン検証画面 – 選択したフリーハンドの線を変更*




*スキャン検証画面 – 選択したテキスト注釈を変更*

## Contex LINK スキャンクライアントソフトウェア

Contex LINK スキャンクライアントを使用すると、1 台のスキャナをユーザグループで簡単に共有できます。ユーザは、個人のプロファイルを作成して、独自のファイルの保存先に保存したり、自分の好みに合わせてスキャナの使い方を変更したりすることができます。

Contex LINKはPCにインストールするクライアントソフトウェアです。スキャナと同じLAN上のPCにスキャンデータを保存するために使用します。

### 1 Contex LINK をインストールする

スキャナ側での手順

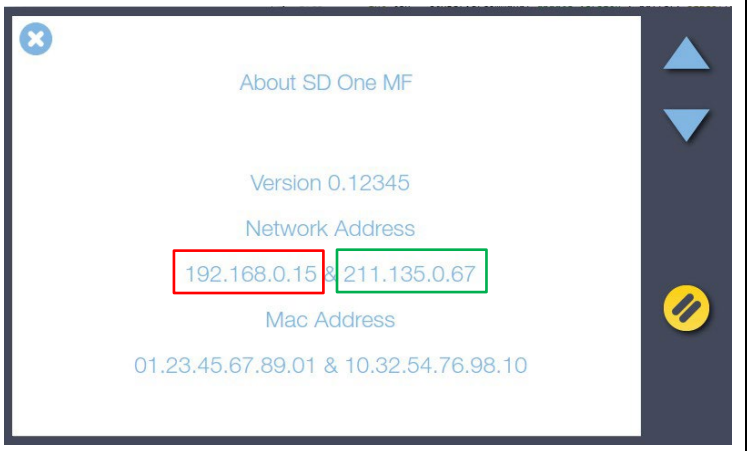
1. スキャナのネットワーク IP アドレスを探します： -> [バージョン情報]

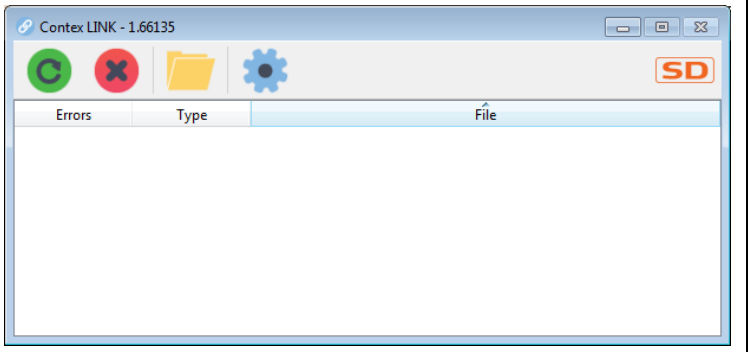
   有線LANのIPアドレス

コンピュータ側での手順：

インターネットブラウザを使用して、スキャナまたはインターネットから Contex LINK ソフトウェアをダウンロードします。

1. http://<スキャナの IP アドレス>または http://www.contex.com/LINK に移動します。
2. ソフトウェアをインストールします。
3. PC プログラムおよびシステムトレイエリアに Contex LINK アイコンが表示されます。
4. アイコンをクリックしてプログラムを開きます。



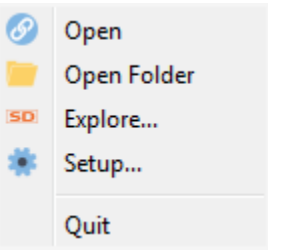
## 2 Contex LINKのユーザー設定

1. PC で Contex LINK を起動し、[セットアップ]アイコンを押します。
2. 名前と電子メールアドレスを入力します。
3. 必要に応じて、スキャナでユーザーを選択するときのPINを設定します。
4. 設定する言語を選択します。
5. 設定を保存して画面を閉じます。




*ContexLINKのPCの画面*

注記：画面にはクラウドサービスのアイコンが表示されますが、現在、Contex LINKからクラウドサービスへの接続・保存は利用できません。

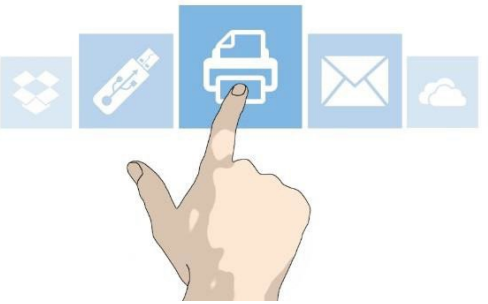
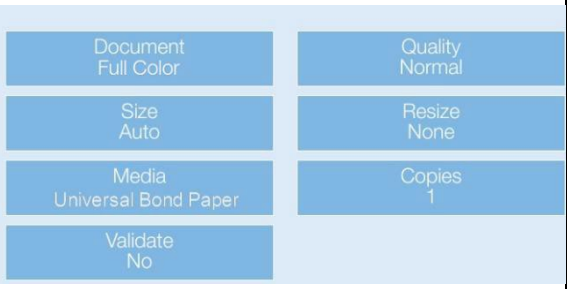



*ContexLINKの右クリックメニュー*

# コピーを取る

## 基本的な手順

SD One MF を使用すると簡単にコピーを取ることができます。ここでは、コピーを取る方法について説明します。

| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|
|  |  |  |  |
| 原稿を挿入する | [コピー]オプションを選択する | コピー設定を選択する | ボタンを押す |
| 原稿の印刷面を上に向け、中央に揃えてスキャナの中央部から挿入します。 | コピーを取る場合は、使用するメディアのプリンタおよびメディアプロファイルをスキャナの設定で設定する必要があります。 | 原稿のタイプ、スキャン品質、ファイル形式を選択するか、または緑のボタンを押して単純にデフォルトの設定を使用します。 | 緑のボタンを押してコピーを開始します。 |
| 「*原稿を挿入する*」セクションを参照してください。 | 「*インストール - プリンタを設定する*」セクションを参照してください。 | 詳細については、このセクションを参照してください。 | |

## コピー設定

| 設定 | 説明 |
|---|---|
| **原稿** | **コピーする原稿の種類：**<br>**フルカラー** カラー写真、ポスターなど<br>白黒グレースケール モノクロ写真やグレーの濃淡がある画像<br>カラーCAD/GIS カラーの線画または地図<br>白黒グレースケール CAD/GIS モノクロの線画または地図 |
| **画質** | **コピーの出力品質を決定します**<br>高速 高速の場合はドラフト品質です。<br>標準 一般的なタスクには中程度の品質が適しています。<br>高品質 最良の品質が得られます。コピーに時間がかかります。 |
| **サイズ** | **スキャナのキャプチャ領域を決定します**<br>自動 原稿のサイズの自動認識<br>全て スキャナの最大幅を取り込みます |
| **メディア** | **プリンタで使用する用紙の種類**<br>使用する用紙に合うメディアプロファイルを選択します。一覧にない場合は、新しいプロファイルを作成してください。「プリンタのメディアプロファイルを作成する」を参照してください。 |
| **サイズ変更** | **印刷される出力のサイズ**<br>なし：等倍（1:1）でコピーします。用紙：標準用紙サイズ（ANSI、ISO）を選択します。<br>拡大/縮小 倍率を入力します(50%など) |
| **部数** | **出力するコピーの部数**<br>数値を選択します |
| **検証** | **印刷前にプレビューを表示し、トリミングや注釈の追加を行います。**<br>はい プレビューを表示します<br>いいえ プレビューを表示しません<br>*SELECT：編集する注釈を選択します。*<br>*CROP – 緑のボーダーをドラッグし、緑のボタンを押して保存します。*<br>*DRAW – フリーハンドの線とマークアップを追加します。*<br>*TEXT – イメージにテキストを追加します。* |




変更メニュー：*原稿のカラー、コピー品質、コピーサイズ、サイズ変更オプション、メディアタイプ、部数、およびコピーの検証オプション。*




*原稿をコピーするための[フルカラー] (上図で選択)、[白黒グレースケール]、[カラーCAD/GIS]、および[白黒グレースケール CAD/GIS]オプション。*

## コピーの検証

### コピーのプレビュー、トリミング、および注釈付けを行う

検証では、コピーしたドキュメントがプリンタに送信される前に、そのプレビューが表示されます。この画面で、コピーイメージのトリミングを行ったり、イメージにフリーハンドで線やテキストを追加したりします。


画面上のコピーに注釈を加えたものを印刷します


コピーをキャンセルします


変更または削除するテキストやフリーハンドの線を選択します


トリミングラインの外側にあるイメージデータを削除します


フリーハンドの線をスキャンしたイメージに追加します

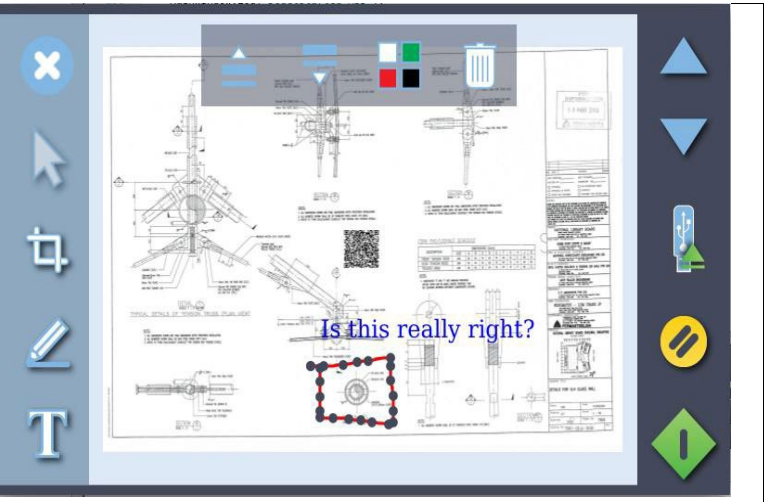

コピーイメージにテキストを追加します

編集制御を有効にします(注釈を選択すると表示されます)

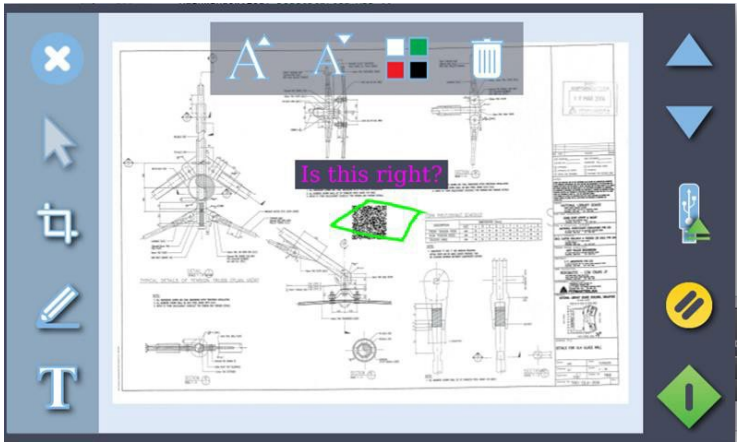


線を太くします　線を細くします　フォントサイズを大きくします　フォントサイズを小さくします　テキストまたはカラーを変更します　削除


**注記：緑のボタンで確定すると、編集内容がコピー画像に反映されます。画面を閉じた後は、元に戻せません。**




*スキャン検証画面 – 選択したフリーハンドの線を変更*




*スキャン検証画面 – 選択したテキスト注釈を変更*

# 基本設定と環境設定



[設定]アイコンを押すと、SD One MFの設定メニューが表示されます。 
［システム］、［スキャナ］、［プリンタ］、［バージョン情報］から項目を選択します。

| オプショングループ | オプション | |
|---|---|---|
| システム | ネットワーク | 有線LANの接続を設定します。IPアドレスを自動取得する場合はDHCPを使用します。固定IPアドレスが必要な場合はネットワーク管理者に確認してください。現在のIPアドレスもこの画面で確認できます。 |
| | 地域 | 日付、時刻、長さの単位（インチまたはmm）、用紙サイズの規格（ANSI、ISO、ISO B、ARCH）を設定します。 |
| | パスワード | パスワードを設定して、スキャナへのアクセスをコントロールできます。パスワード保護が不要な場合は、空のままにしてください。 |
| | 設定 | *現在の*設定をスキャナの新しいデフォルト設定として保存するか([現在の値を保存])、または工場出荷時の*デフォルトにリセット*します([デフォルトにリセット])。 |
| | 電子メール | 送信メールサーバーを設定します。接続・認証方法や必要な許可設定は、メール管理者またはサービス提供元に確認のうえ実施してください。「電子メールサーバ設定の入力」も参照してください。 |
| | 言語 | *画面*および*キーボード*に使用する言語を選択します。これらは同じ言語にする必要はありません。 |
| | タイマー | *[タイムアウト]*に指定した時間スキャナで待機状態が続くと、次のユーザが使用できるように、スキャナの設定がデフォルト設定にリセットされます。*[スリープ]*に指定した時間スキャナで待機状態が続くと、スリープモードに移行します。 |
| | アップデート | システムソフトウェアを最新のバージョンにアップデートします。最新のバージョンが検索され、可能な場合はインターネットを介してインストールされます。 |
| スキャナ | 補正 | スキャナ補正ウィザードを起動します。手順および詳細については、「メンテナンス – スキャナの補正」セクションを参照してください。 |
| | 用紙処理 | Eject Back (後方に排出)、Eject Front (前方に排出) – スキャン後、原稿を後方または前方に排出します。 |
| | サービス | サービスおよびサポートのために、スキャナのログデータを配布します。 support@contex.com に情報を電子メールで送信するか([情報を電子メールで送信])、または*情報を USB に保存します([情報を USB に保存])*。 |
| プリンタ | 設定 | プリンタの IP アドレスを入力します – スキャナで LAN 上のプリンタが検出され、接続されます。詳細については、IT サポートにお問い合わせください。 |
| | メディアプロファイル | メディアプロファイルウィザードを実行して、ロードされたメディアで最適なカラーコピーを行うためのメディアプロファイルを作成します。詳細については、「インストール - プリンタのメディアプロファイルの設定」を参照してください。 |
| | プリンタのマージンに合わせて補正 | プリンタの印刷できない領域を考慮してコピーを調整します。 |
| バージョン情報 | - | 現在のスキャナファームウェア、ソフトウェアバージョン、およびネットワークアドレスに関する情報。 |

# 管理者コンソール

SD One MFは、同じネットワーク上のPCから管理者コンソールを開いて設定や動作ログを確認できます。

Webブラウザで、スキャナのIPアドレスに「/admin」を付けたアドレスを開きます。

アドレスの例：http://192.168.50.93/admin（実際のIPアドレスに置き換えてください）

管理者コンソールには、次の機能があります。

**ホーム：スキャナのシリアル番号とファームウェアのバージョンを表示します。**

**電子メール：送信サーバーの接続先、ポート、セキュリティ、アカウント、パスワード、送信者名、添付ファイルの最大サイズを設定します。連絡先：保存されているメールの宛先を確認・追加します。**

**日付と時刻：スキャナに設定されている日付と時刻を確認・変更します。**

**サイズ：用紙サイズの規格と長さの単位を設定します。**

**言語：画面とキーボードの言語を選択します。**

**タイマー：設定を初期値に戻すまでの時間と、スリープモードに移行するまでの時間を設定します。**

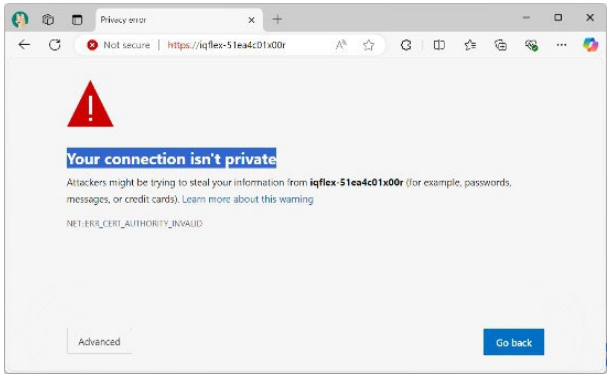
**システム：リセット、再起動、パスワード設定、ホスト名の設定を行います。ホスト名の設定はサービスエンジニア用です。**

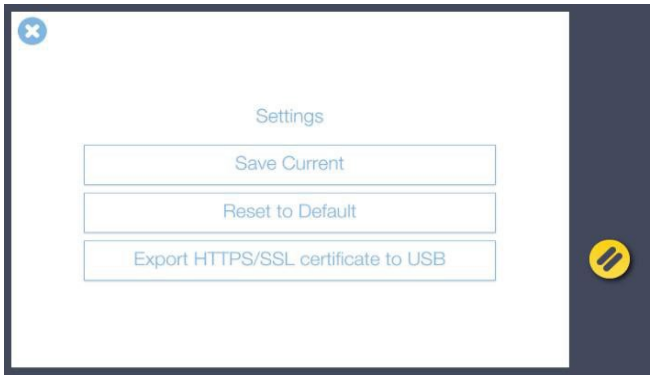
**ログ：スキャナの動作ログを表示します（サービスエンジニア用）。**



## HTTPS接続時の証明書に関する警告

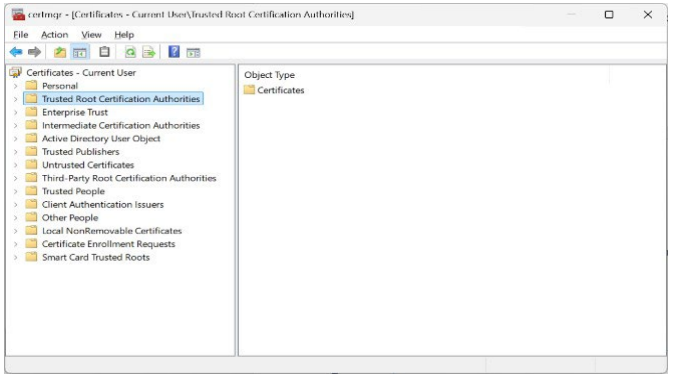
スキャナの Web インターフェイスに接続すると、接続がプライベートではないという通知がブラウザに表示される場合があります。




このメッセージを回避するには、スキャナから HTTPS/SSL 証明書をダウンロードし、Windows PC にインポートする必要があります。

1. USB メモリスティックをスキャナに挿入します。
2. [設定] > [システム] > [オプション] > [設定] に移動します。
3. [*HTTPS/SSL 証明書を USB にエクスポート*] ボタンをクリックして、証明書を USB メモリスティックに保存します。
4. USBメモリーをスキャナから取り外し、Windows PCに接続します。
5. PC で Windows キー + R を押して、「*certmgr.msc*」と入力してから、[OK] を押し、Windows 証明書マネージャーを開きます。
6. [*信頼されたルート証明機関*] を右クリックして、[*すべてのタスク*] > [*インポート*] を選択します。ウィザードを使用すると、USB メモリスティック上の証明書を参照して、証明書をインポートできます。
7. インターネットブラウザを再起動し、スキャナに再接続します



# スキャナのメンテナンス

## メンテナンスタスク

スキャナの性能を維持するため、清掃と補正を行ってください。

1. **清掃**
   スキャナを汚れのない状態に保ちます。内部のスキャンエリアの入念な清掃方法について、次のセクションで説明します。スキャナを清掃する頻度は、スキャンの頻度とメディアのタイプによって異なります。主に新聞や古い青焼きの原稿をスキャンする場合は、カタログや最近の図面だけをスキャンする場合より頻繁に清掃する必要があります。良好なスキャン結果が得られなくなったときには、必ずスキャナの清掃を行ってください。スキャンエリアにほこりが付着しているだけで、スキャンしたイメージに縞が現れることもあります。
   詳細については、「*スキャンエリアの清掃*」を参照してください。
2. **補正**
   清掃しても画質が改善しない場合は、スキャナを補正してください。補正ではセンサー間の画像の位置ずれや、白・黒および色の再現性を調整します。事前にスキャンエリアを清掃し、キャリブレーションシートを挿入して補正ウィザードを実行してください。
   詳細については、「*スキャナの補正*」を参照してください。

## スキャンエリアの清掃

清掃の頻度は、主としてスキャナの使用頻度と原稿の状態によって決まります。原則として、1 か月に最低 1 回は清掃を行い、高い精度が要求される重要なジョブの直前にも必ず行ってください。

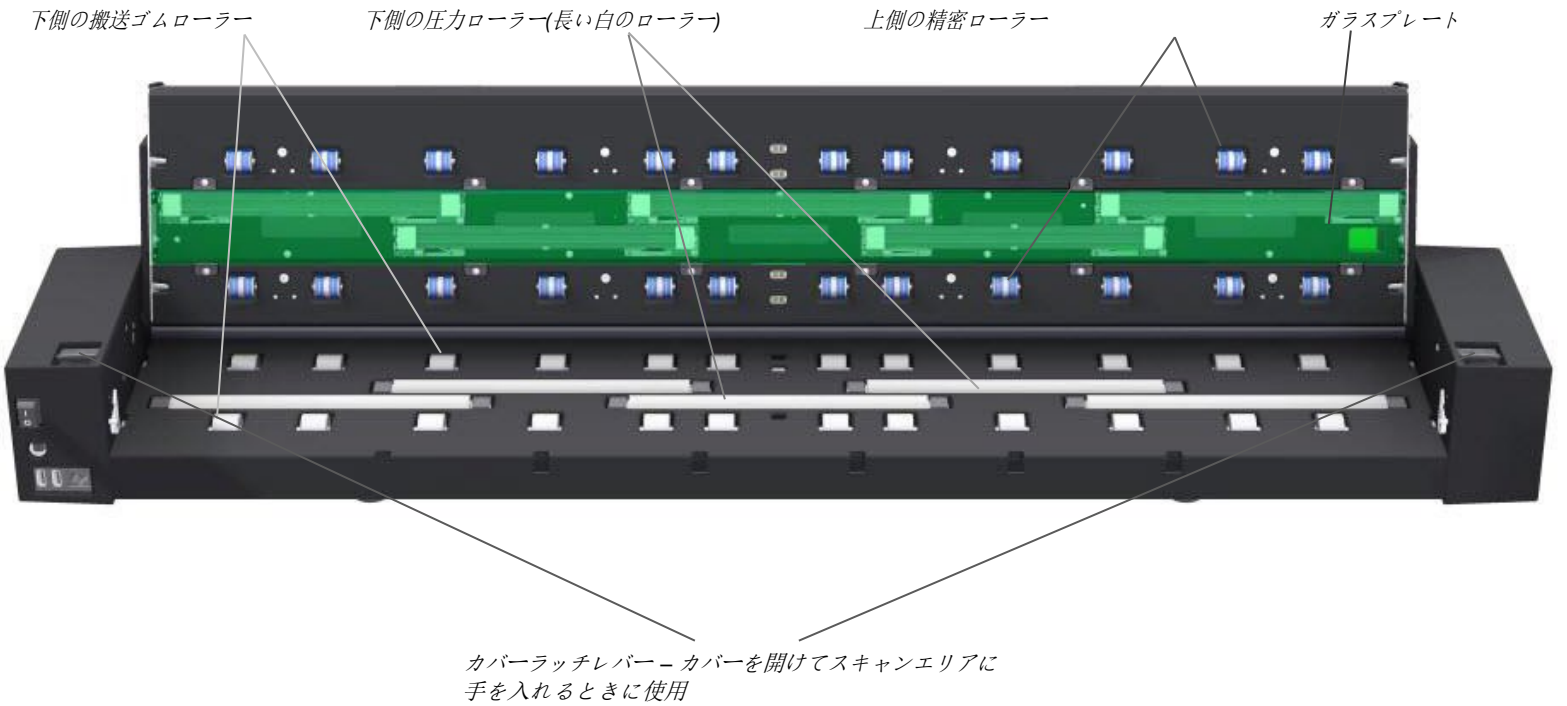
**以下のスキャナ部品および箇所は、必ず清掃してください。**

1. スキャナの給紙台
2. ガラスプレート
3. 上側の精密ローラー
4. 下側の圧力ローラー
5. 下側の搬送ゴムローラー

**注記：**スキャナのこれらの部品の位置を確認するには、次のページの「*概要 – 主要なメンテナンス箇所 – 清掃*」を参照してください。

## 概要 – 主要なメンテナンス箇所 – 清掃

次の図は、カバーを開けたスキャナを上から見たところです。スキャナの清掃を行うときに把握しておく必要のある重要箇所(部品および場所)が示されています。これらの箇所が対象となる清掃作業の手順について以降のセクションで説明します。

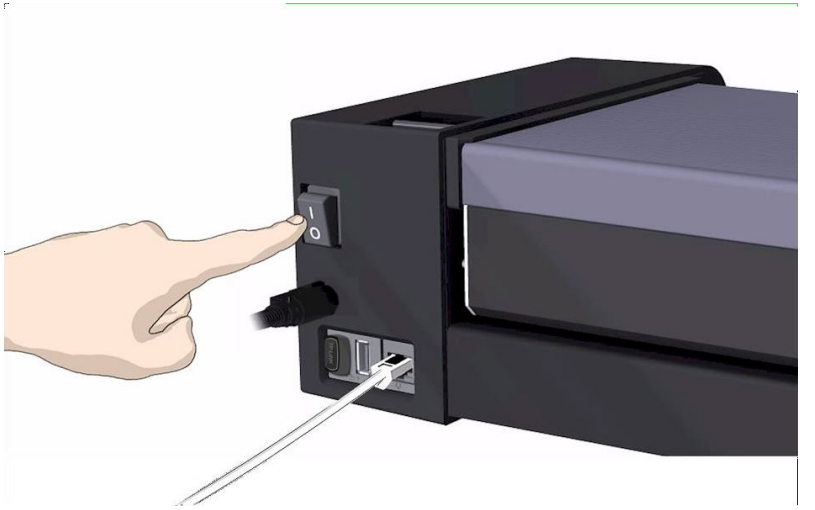


***スキャナを清掃するには***

*スキャナの清掃*

## 1 スキャナの主電源をオフにする

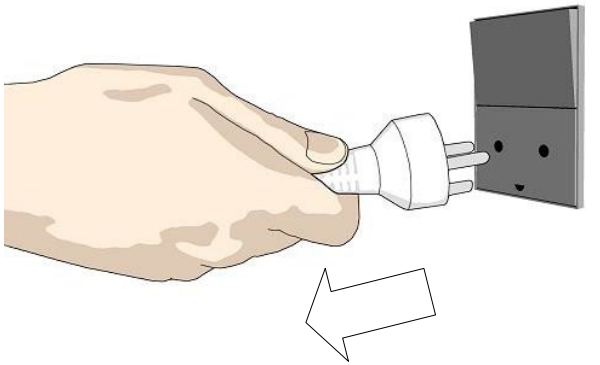
スキャナの背面にある主電源スイッチを押してオフにします (“0”の側を押す)。




*スキャナの清掃*

## 2 スキャナの電源ケーブルを抜く

**警告：**スキャナの清掃を行う前に、必ず電源ケーブルを抜いてください。これは、怪我やスキャナの破損を防ぐためです。



*スキャナの清掃*

## 3 タッチスクリーンを折り畳む

スキャナのメンテナンス中にタッチスクリーンを保護するには、上端をつかんで折り畳みます。




*スキャナの清掃*

## 4 給紙台を清掃する

スキャンエリアに原稿とともにほこりが入り込まないように、スキャナの給紙トレイの表面を清掃します。



*スキャナの清掃*

## 5 解除ボタンを引き上げてカバーを開く

スキャナの両側面のカバーの奥側にある解除ボタンを使用して、スキャナカバーを開きます。

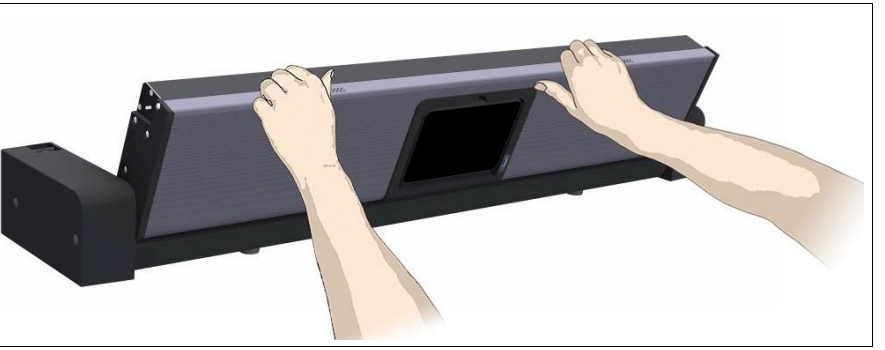
1. スキャナの前に立ちます。
2. 各解除ボタンのロックが外れるまで、両方の解除ボタンを指で引き上げます。




*スキャナの清掃*

## 6 スキャナを開く

カバーの端を持って手前に引き上げます。スキャナカバーが止まるまで完全に開きます。



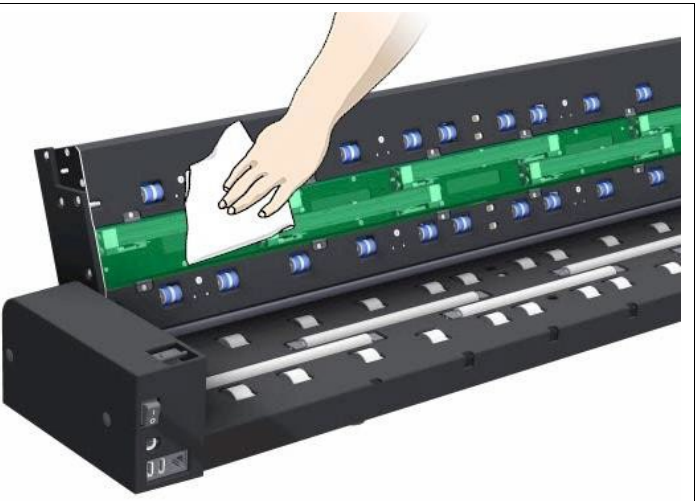
*スキャナの清掃*

## 7 スキャナのガラスプレートを清掃する

ガラスプレートの清掃には、糸くずの出ない新しいきれいな布を 2 枚使用します。給紙台の清掃に使用した布は使用しないでください。

1. スプレーなどを使用し、糸くずの出ない布に縞模様を残さないマイルドなガラスクリーナーを付けます。
2. ガラスプレートを軽く拭きます。
3. もう 1 枚の糸くずの出ない乾いたきれいな布でガラスをから拭きして完全に乾かします。
4. 液体がガラスの下に入り込まないように注意し、その部分を乾いた状態に保ってください。

**警告：**ガラスプレートやスキャンエリア内の他の箇所にクリーナー液をスプレーなどで直接かけないでください。



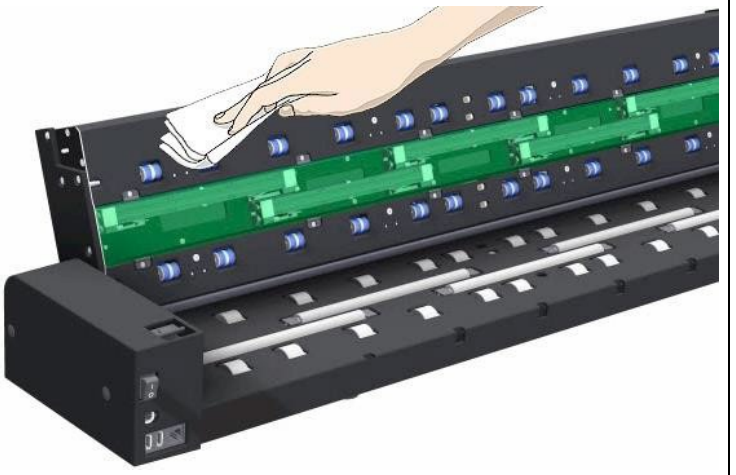
*スキャナの清掃*

## 8 上側の精密ローラーを清掃する

上側の精密ローラーは、カバー内のガラスプレートの両側に並んでいます。これらのローラーは、スキャナ内を移動する原稿の向きをまっすぐに保つ働きをします。上側の精密ローラーは原稿の印刷面に直接触れるため、清掃時には特に注意を払う必要があります。

1. スプレーなどを使用し、糸くずの出ない布に縞模様を残さないマイルドなガラスクリーナーを付けます。
2. ローラーの表面を軽く拭きます。
3. 布を使用してローラーを回し、すべての面を拭きます。
4. 糸くずの出ない別の乾いたきれいな布でローラーをから拭きして完全に乾かします。
5. ローラーの周辺部を乾かします。

**警告：**ローラーやスキャンエリア内の他の箇所にクリーナー液をスプレーなどで直接かけないでください。



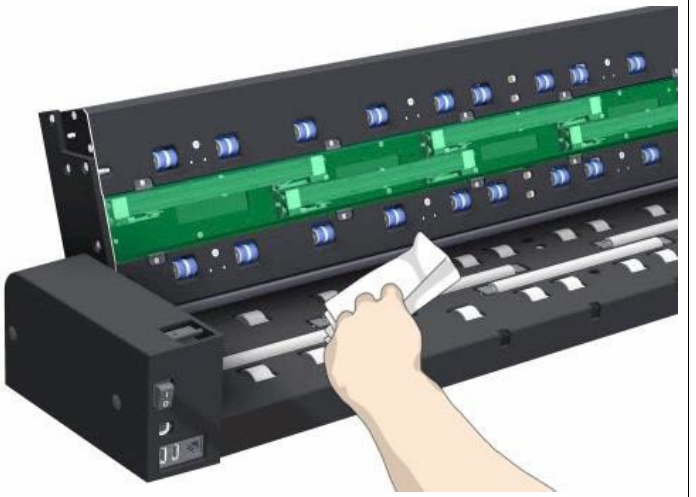
*スキャナの清掃*

## 9 白い圧力ローラーを清掃する

白い圧力ローラーとは、黒い搬送ローラーの間にある長いローラーのことです。このローラーは、原稿をスキャナ内で平らに保つ役割を果たします。

1. スプレーなどを使用し、糸くずの出ない布に縞模様を残さないマイルドなガラスクリーナーを付けます。
2. 白いローラーの表面を軽く拭きます。
3. 布を使用してローラーを回し、すべての面を拭きます。
4. 糸くずの出ない別の乾いたきれいな布でローラーをから拭きして完全に乾かします。
5. ローラーの周辺部を乾かします。

**警告：**ローラーやスキャンエリア内の他の箇所にクリーナー液をスプレーなどで直接かけないでください。



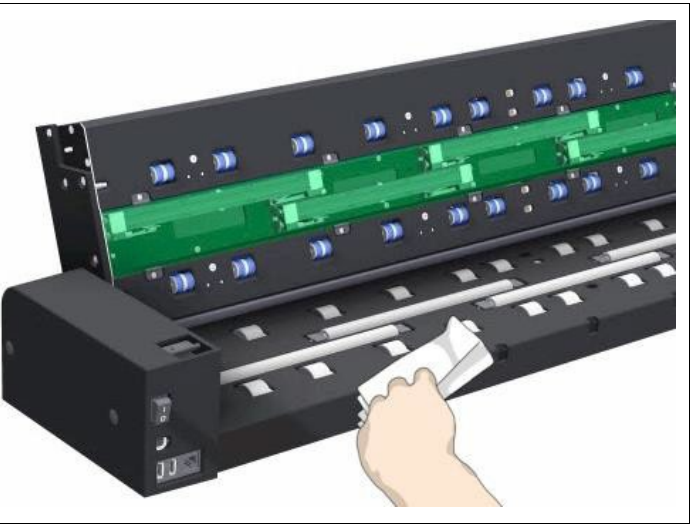
*スキャナの清掃*

## 10 搬送ローラーを清掃する

搬送ローラーと黒いラバーホイールは、白い圧力ローラーの内側に 2 列に並んでいます。黒い搬送ローラーは電動式で、スキャナ内で原稿を送ります。

1. スプレーなどを使用し、糸くずの出ない布に縞模様を残さないマイルドなガラスクリーナーを付けます。
2. 搬送ローラーの表面を軽く拭きます。
3. 布でローラーを回し、全面を拭きます。搬送ローラーは同じ軸に連結されているため、1つを回すとすべて回ります。
4. 糸くずの出ない別の乾いたきれいな布で搬送ローラーをから拭きして完全に乾かします。
5. ローラーの周辺部を乾かします。

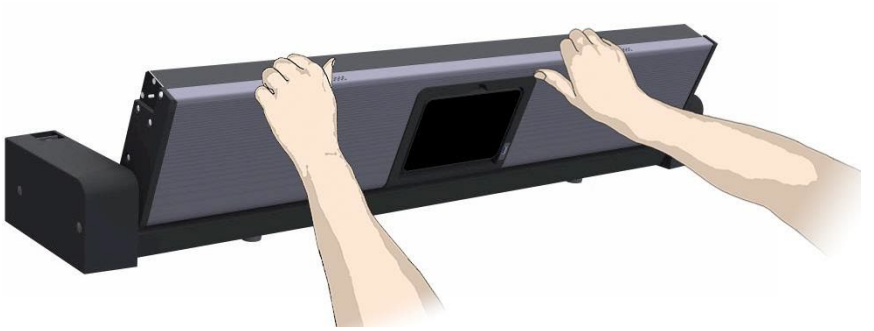
**警告：**ローラーやスキャンエリア内の他の箇所にクリーナー液をスプレーなどで直接かけないでください。



*スキャナの清掃*

## 11 カバーを閉じる

1. スキャナカバーの上部に手を当て、カチッという音がしてラッチがかかるまで押し下げます。
2. カバーを軽く上げて完全に閉まっていることを確認します。



*スキャナの清掃*

## 12 スキャナの清掃完了

スキャナとスキャンエリアの清掃手順が完了しました。

1. タッチスクリーンを持ち上げて、垂直の位置に戻します。
2. スキャナの電源を入れる
3. 主電源スイッチをオンにします。



## スキャナの補正

スキャナの補正は簡単に実行できます。キャリブレーションシートを挿入するだけで、あとは補正ウィザードが自動的に処理を実行します。

**注記：**補正を行う前に必ずスキャナおよびスキャンエリアを清掃してください。

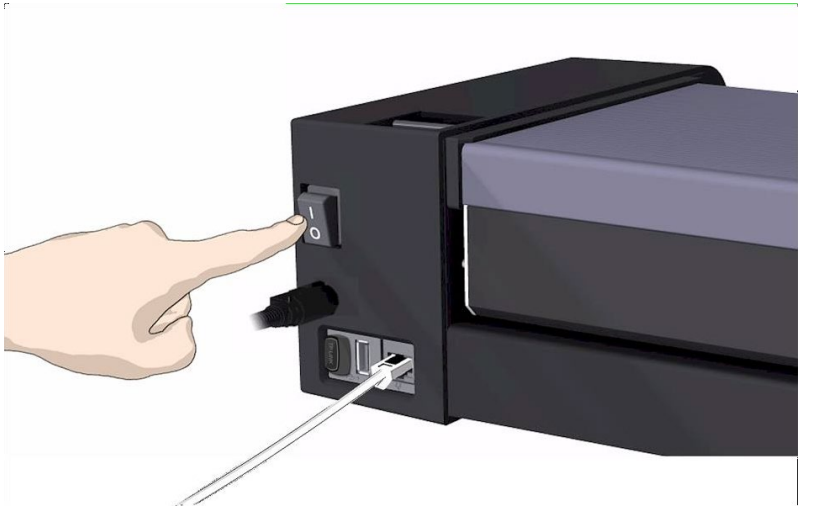
***スキャナを補正するには***

*補正*

### 1 スキャナの電源を入れる

主電源がオフになっている場合は、スキャナの背面にある主電源スイッチを押してオンにします。スキャナが*スリープ*モードになっている場合は、いずれかのボタンを押してスキャナを*ウェイクアップ*モードにします。

電源が完全にオンになると、スキャナは補正を実行できる状態になります。



*補正*

## 2 スキャナ補正ウィザードを起動する



**[設定>スキャナ>補正]**

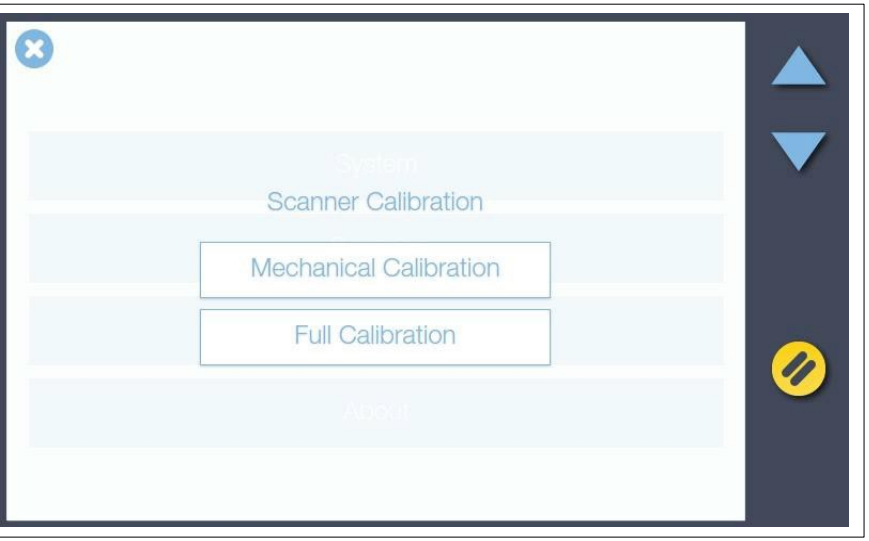



*補正*

## 3 補正の種類を選択します。

*[機械的特性補正]*または*[完全補正]*のいずれかを選択します。

- 機械的特性補正では、イメージスティッチングが正しく行われるように水平キャプチャのみが調整されます。
- 完全補正では、機械的特性補正(位置調整)、白/黒補正、およびカラー補正が行われます。



*補正*

## 4 キャリブレーションシートを挿入する

ウィザードの実行中に、スキャナに付属の*キャリブレーションシート*を挿入するように指示されます。**シートの印刷面を上にして挿入します**。シートの中心矢印をスキャナの中心矢印に揃えて、シートをスキャナに給紙します。

ウィザードの*[次へ]*ボタン をクリックして続行します。



*補正*

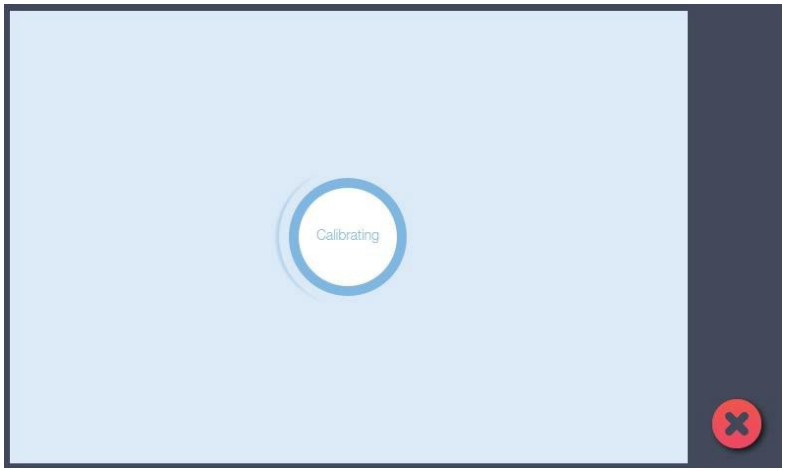
## 5 プログラムがスキャナを補正する

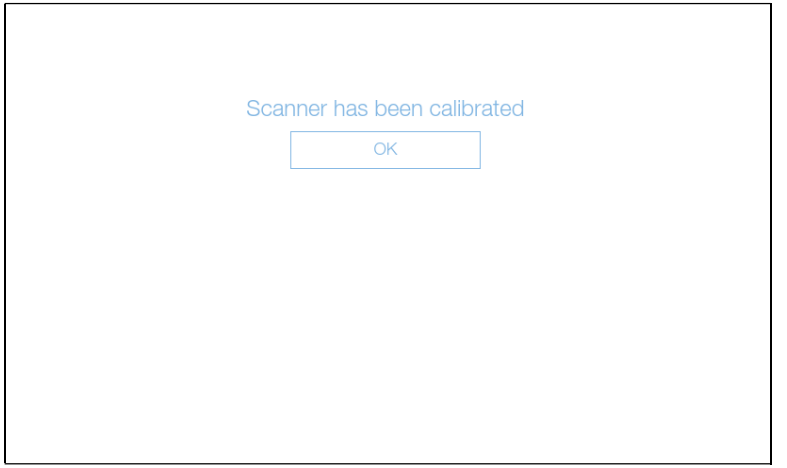
プログラムが段階的に動作し、センサーの解析と修正、白/黒値の補正、およびカラーの補正を実行します。キャリブレーションシートが繰り返しスキャンされ、プログラムがデータを処理します。

要求した補正処理が完了するまで待ちます。

補正処理が完了すると、それを示すメッセージが表示されます。

1. スキャナキャリブレーションシートをスキャナから取り外します。
2. スキャナキャリブレーションシートを保護カバーに戻してから、保管フォルダに入れます。
3. 直射日光の当たらない乾燥した場所にフォルダを保管します。



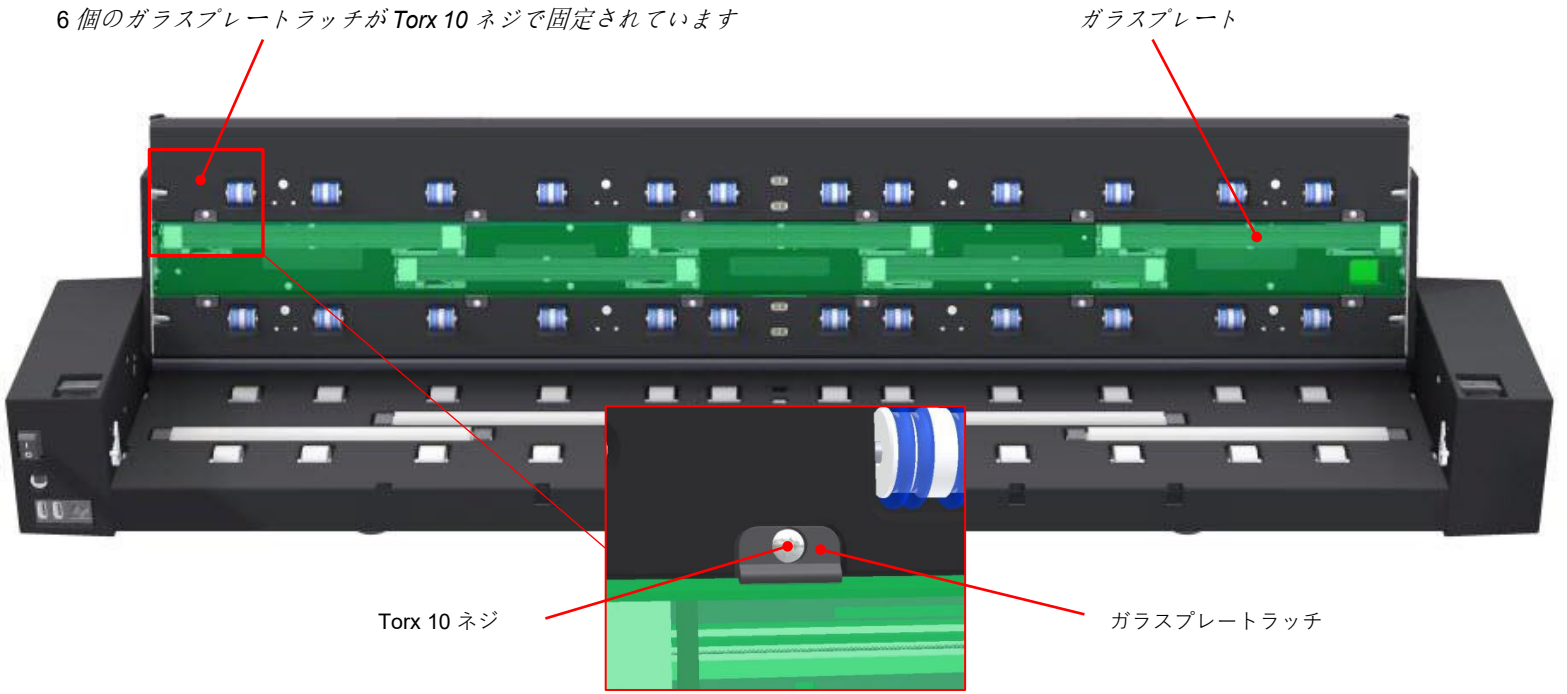



## ガラスプレートの交換

原稿はスキャン時にガラスプレートの上を通過します。ガラスプレートに摩耗や傷が生じると、画質や読み取り精度が低下する場合があります。その場合はガラスプレートを交換してください。

**ガラスプレートを交換するために把握しておく必要のある主要な部品:**
次の図は、カバーを開けたスキャナを背面から見たところです。摩耗したガラスプレートを交換するときに把握しておく必要のある主要な部品とボタンが示されています。

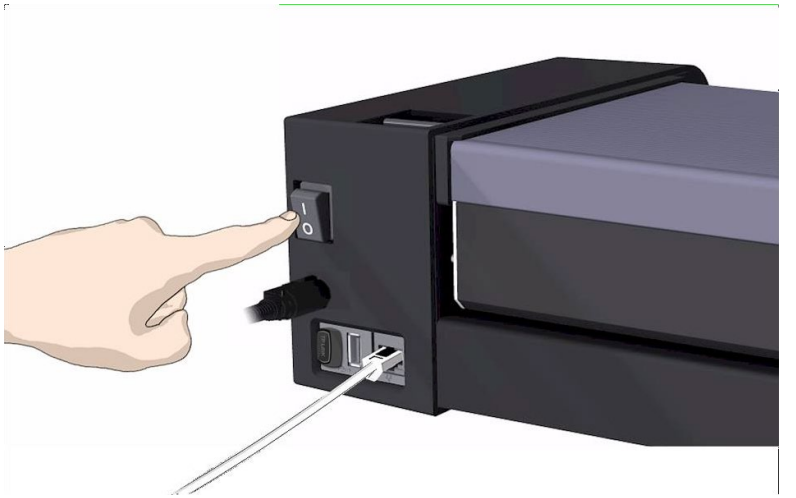
ガラスプレートは、小さなプラスチック製ラッチで固定されています。各ラッチは、Torx 10 ネジを取り外すと、ガラスプレートから外すことができます。以降のページで作業手順を説明します。



*ガラスプレートの交換*

## 1 スキャナの電源をオフにする

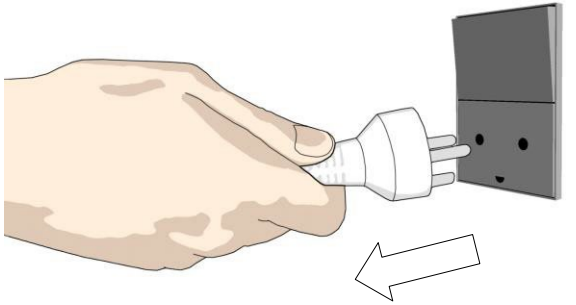
背面の主電源スイッチをオフにします。



*ガラスプレートの交換*

## 2 スキャナの電源コードを抜く

⚠警告：作業前に電源ケーブルとLANケーブルを取り外してください。けがや機器の損傷を防ぐため、必ず実施してください。



*ガラスプレートの交換*

## 3 タッチスクリーンを折り畳む

ガラスの交換中に、タッチスクリーンを保護します。上端をつかんで折り畳みます。




*ガラスプレートの交換*

## 4 解除ボタンを引き上げてカバーを開く

スキャナの両側面の奥にある解除ボタンを使用して、カバーのロックを解除します。

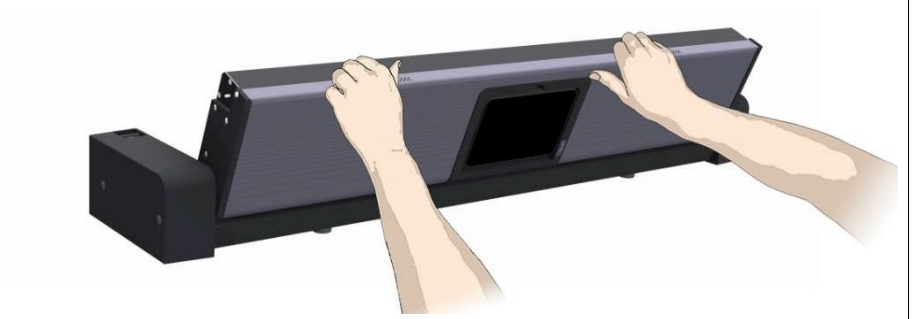
1. スキャナの前に立ちます。
2. 各解除ボタンのロックが外れるまで両方の解除ボタンを指で引き上げます。



*ガラスプレートの交換*

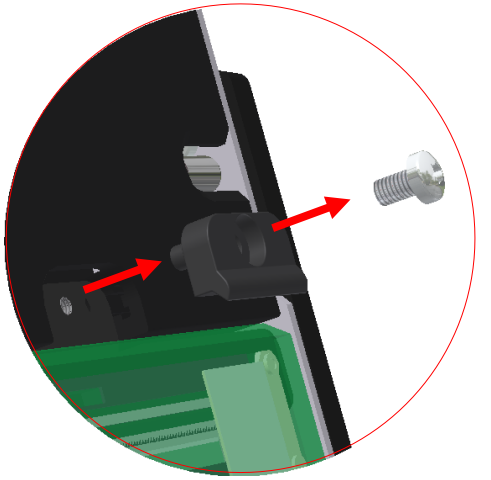
## 5 スキャナを開く

カバーを手前に引いて完全に開き、スキャンエリアとガラスプレートを露出させます。



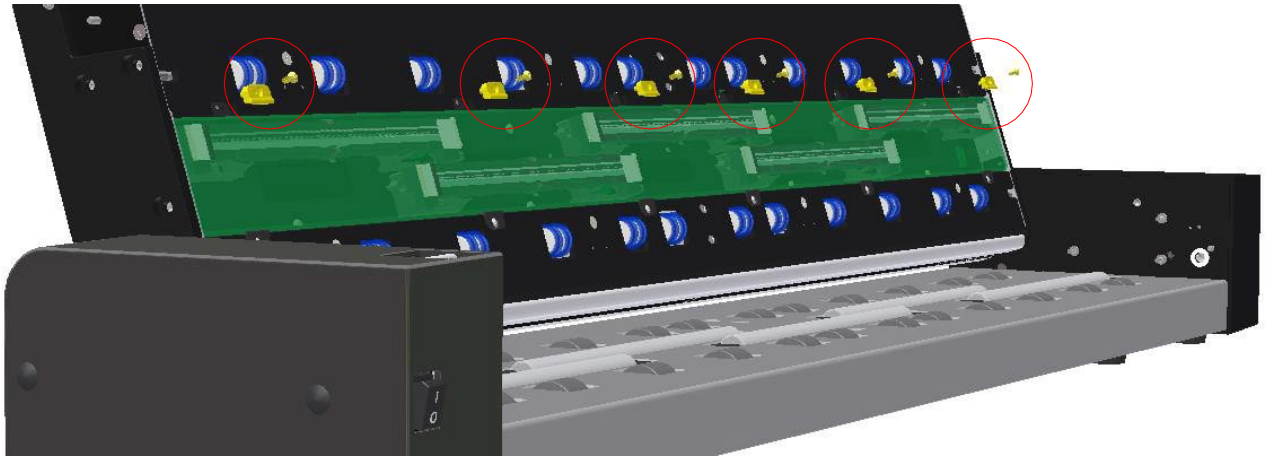
*ガラスプレートの交換*

## 6 Torx 10のネジとラッチを取り外す



ネジとラッチは各6個（SD One MF 24は各4個）です。作業前に、上の「主要部品の概要」で位置を確認してください。

1. スキャナの背面に立ちます。スキャナの右側から始めます。
2. 上の列のみ、すべてのネジとラッチを取り外します。



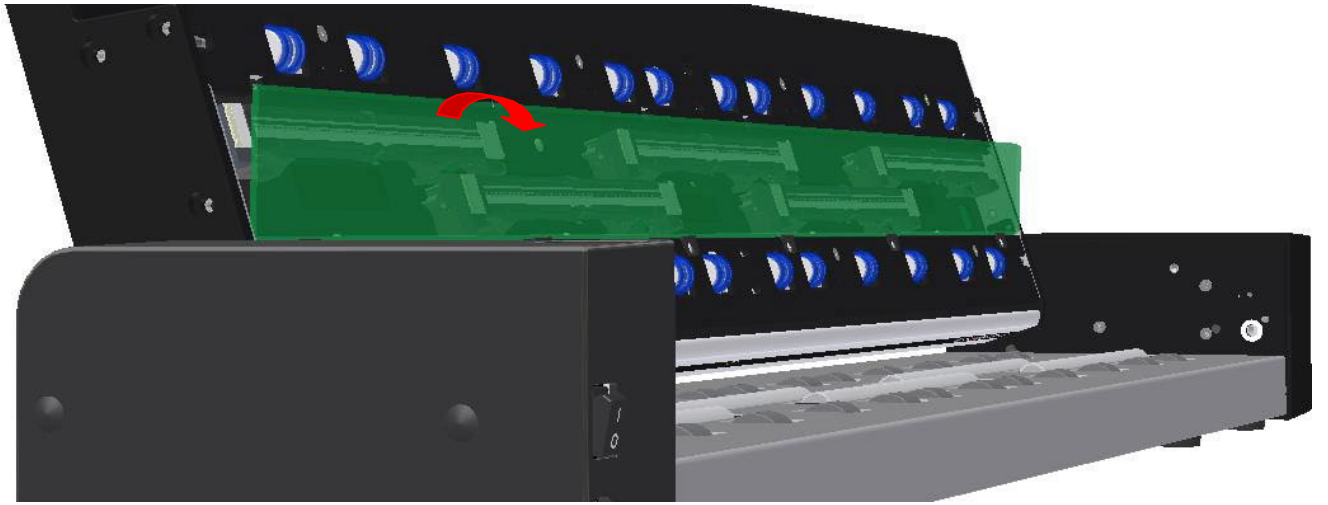
*ガラスプレートの交換*

## 7 ガラスプレートを取り外す

ガラスプレートは、スキャナから取り外すことができる状態になっています。

3. ガラスプレートの上端を持ち上げてスキャナから外します。
4. ガラスプレートの端を持ち、スキャナからガラスを持ち上げます。

⚠ 警告：ガラスプレートは長くて薄いため、非常に割れやすくなっています。スキャナの上でガラスプレートを割らないように注意してください。



*ガラスプレートの交換*

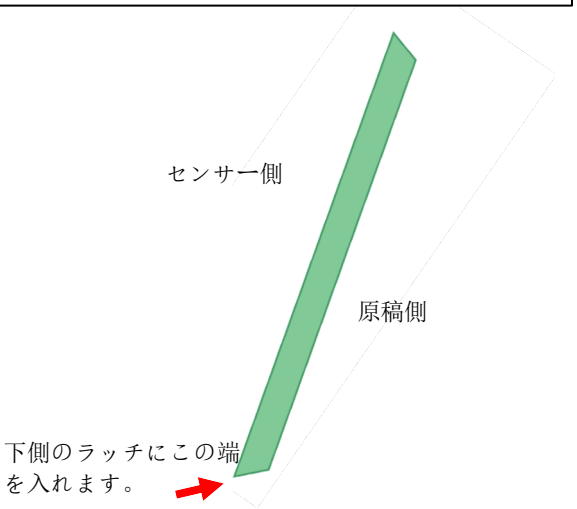
**8**

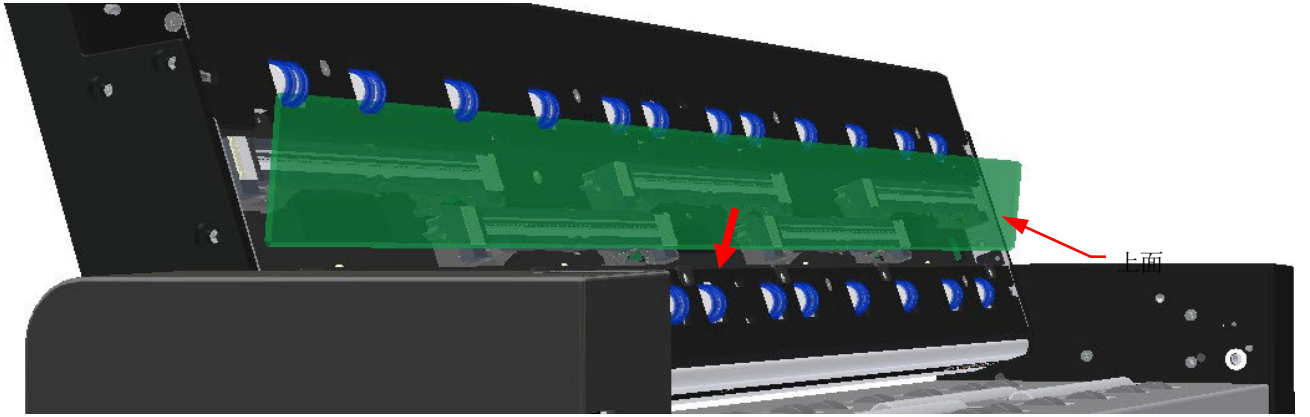
## スキャナに新しいガラスプレートを取り付ける

1. 新しいガラスプレートを持ち上げます。ガラスプレートの表面に触れないように両端を持ってください。
2. メンテナンス中に通常は清掃しないガラスプレートの裏面に触らないよう**特に注意**してください。
3. ガラスプレートを持ってスキャナの後に立ちます。
4. ガラスプレートは、表面を正しい向きにして持ってください。両端のカットの方向によってガラスプレートの原稿側を見分けることができます。ガラスプレートの側面図(右)を参照してください。
5. 以下に示す向きでガラスプレートを持ちます。
6. 図のようにガラスプレートを傾けてスキャナ内に下ろし、ガラスプレートの下側のエッジがスキャナの下側のラッチに収まるようにします(次の手順を参照)。

⚠ 警告：ガラスプレートは長くて薄いため、割れやすくなっています。ガラスプレートを割らないように注意してください。

**ガラスプレートの側面図：**
図のような角度を保ちながら、ガラスプレートをスキャナの上に下ろします。

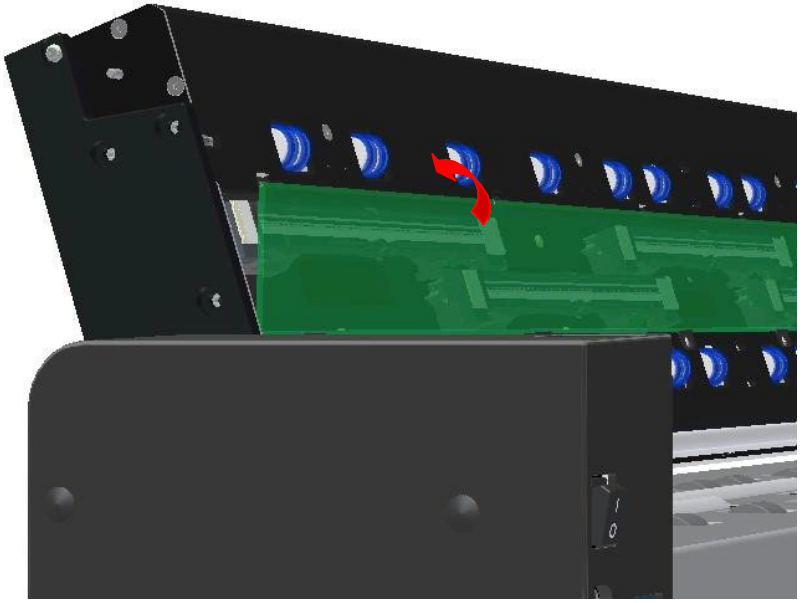


*ガラスプレートの交換*

## 9 上端を傾けてガラスプレートを配置する

ガラスプレートが下側のラッチに収まった状態で、ガラスプレートがスキャナカバーに完全にはまるように、上側のエッジを慎重に傾けます。

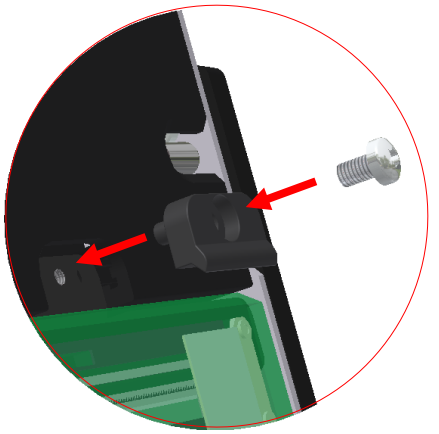


*ガラスプレートの交換*

## 10 ガラスプレートを固定する

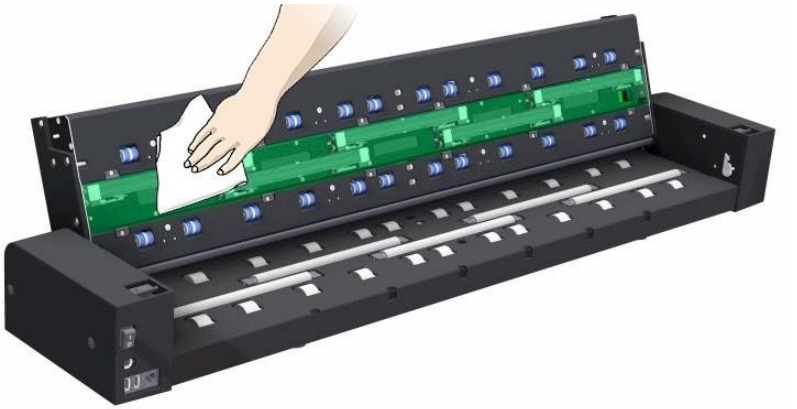
取り外したラッチとネジ（各6個、SD One MF 24は各4個）を取り付け直します。

1. スキャナの右側から、ラッチとネジを差し込みます。
2. 締めすぎないように注意しながら、ゆっくりとネジを締めます。
3. ガラスプレートがラッチで押さえられていることを確認します。



*ガラスプレートの交換*

## 11 ガラスプレートを清掃する



ガラスプレートの清掃には、糸くずの出ない新しいきれいな布を使用します。

1. スプレーなどを使用し、布の片側に縞模様を残さないマイルドなガラスクリーナーを付けます。
2. ガラスプレートを軽く拭きます。交換作業中に表面に付いた可能性のある指紋や染みを探して拭き取ってください。
3. 布の反対側（乾いている方）でガラスプレートをから拭きして完全に乾かします。
4. 液体がガラスプレートの下に入り込まないように注意し、その部分を乾いた状態に保ってください。

**警告**:ガラスプレートやスキャンエリア内の他の箇所にクリーナー液をスプレーなどで直接かけないでください。

*ガラスプレートの交換*

## 12 ガラスプレートの交換完了



1. 「カチッ」という音がしてラッチがかかるまで、スキャナカバーを完全に閉じます。カバーを軽く上げて完全に閉まっていることを確認します。
2. タッチスクリーンを引き上げます。
3. スキャナの電源ケーブルを接続し、主電源スイッチをオンにしてください。
4. **注記：** ガラスプレートの交換後も良好なスキャン結果が得られない場合は、スキャナの補正を実行し、新しいガラスプレートに合わせてスキャナを調整してください。

## スキャナソフトウェアのアップデート

スキャナソフトウェアのアップデートは、インターネット接続を経由して行うことができます。ソフトウェアのアップデートは自動または手動で行うことができます。

**自動アップデート**

- スキャナのアップデートが初めて利用可能になると、アップデートの登録を求める通知が画面に表示されます。
- 登録すると、その後のアップデートはすべてシステムに自動的に送信されます。
- アップデートが利用可能になると通知が表示されます。すぐに適用するか、後で適用するかを選択します。

スキャナの画面からソフトウェアを手動でアップデートすることもできます。

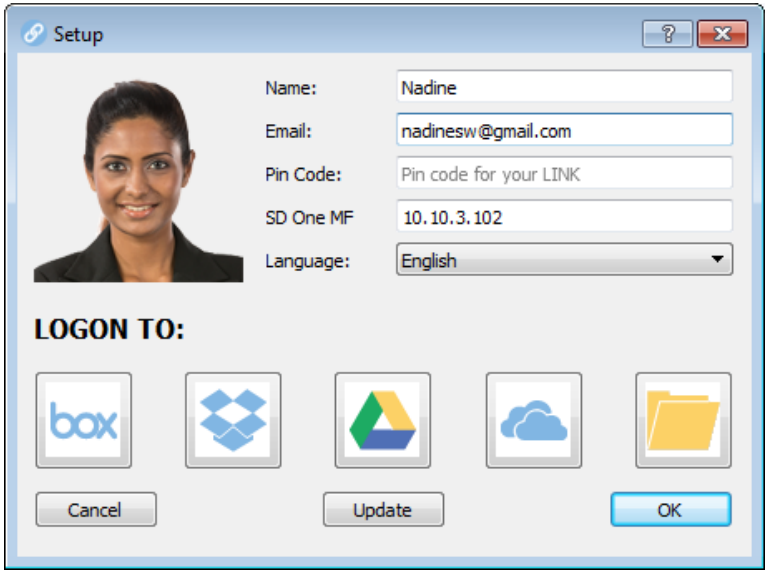


**[設定>システム>アップデート]**

## Contex LINK クライアントソフトウェアのアップデート

1. PC がインターネットに接続されていることを確認します。
2. PC で Contex LINK を起動します
3. セットアップアイコンを押します。
4. *[アップデート]*ボタンがアクティブになっている場合は、ボタンを押してダウンロードおよびインストールウィザードを開始します。
5. 画面に表示される指示に従ってください。

**注記：**以下から Contex LINK をインストールすることもできます。
http://www.contex.com/LINK




*ContexLINKスキャンクライアントソフトウェアのアップデート：**[アップデート]**ボタンを押します。*

注記：画面にはクラウドサービスのアイコンが表示されますが、現在、Contex LINKからクラウドサービスへの接続・保存は利用できません。

# スキャナに関するトラブルシューティング

このセクションでは、スキャナで発生する可能性のある一般的な問題のトラブルシューティング手順について説明します。実際の状況に合致する問題の説明を探してください。見つかった場合は、推奨されているトラブルシューティング手順を実行してから修理の依頼をしてください。

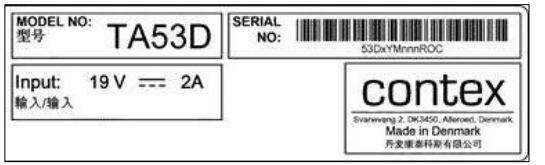
## 技術サービス

技術的なサポートが必要となる場合もあります。以下の 1 つ以上の状況に該当する場合は、サービスプロバイダに連絡してください。

- 画面に表示される方法でエラーを解決できない。
- エラーとその解決方法がこのユーザーズガイドに記載されていない。
- エラーメッセージが画面に表示されない。

**注記：**サービスプロバイダの連絡先については、メーカーの Web サイトを参照してください。

問題への最善の解決策を迅速に得るためには、サービスプロバイダに技術サポートを依頼する前に、できるだけ多くの情報を用意する必要があります。




1. **スキャナモデル名とシリアル番号**を書き留めてください。シリアル番号はスキャナカバーの下側のラベルに印刷されています。カバーを開けてラベルを確認してください。
2. **ファームウェアとソフトウェアのバージョンを書き留めてください。**ソフトウェアインタフェースが実行されている場合は、以下を選択します。
   -> *[バージョン情報]*
3. **Contex LINK (クライアントソフトウェア)のバージョンを書き留めます。**PC で Contex LINK ソフトウェアを起動します。バージョン番号は上部に表示されます。
4. **スキャナの IP アドレス**を書き留めます。これは、オンラインのリモートサポートを受ける場合に役立ちます。スキャナの IP を表示するには、以下を選択します。
   スキャナのIPアドレスを控えてください。以下の設定画面で確認できます。
5. 技術サービスが問題をできるだけ早く解決できるように、スキャナの重要なデータを含んでいる**ログファイル**を**さらに提供するとよいでしょう。**
6. スキャナのログを提供するには、以下のようにします。
7. [設定]アイコンを選択します： -> [スキャナ] -> [サービス]
8. ログファイルの保存または送信方法を選択します。

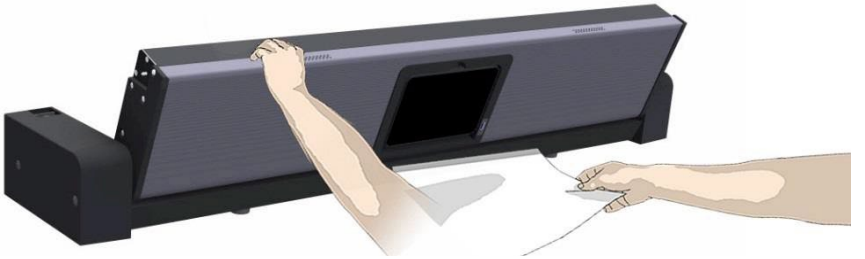
a. ログをメールで送信する場合は、[情報を電子メールで送信]を選択します。
事前に送信メールサーバーを設定し、送信テストが成功することを確認してください。詳細は「電子メールサーバ設定の入力」を参照してください。

b. スキャナの上部に挿入する USB キーにログファイルをコピーするには、***[情報を USB に保存]***を選択します。

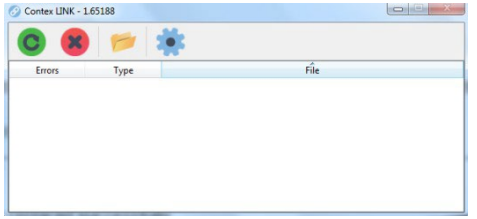



*スキャナのログファイルを送信または保存します。これは、サービス技術者が問題を特定し、解決するのに役立ちます。*

## スキャナの操作に関連する問題

| 問題 | 考えられる原因と解決方法 |
| --- | --- |
| **エラーメッセージ：紙詰まり** | 紙詰まりエラーが発生すると、スキャナは、原稿が駆動機構内にまだある状態でスキャンを停止します。解決するには、次の手順を実行します。<br><br>1. 両側のカバー解除ボタンを引き上げてロックを解除し、カバーを開きます。<br><br><br>2. 一方の手でカバーを引き上げて開き、もう一方の手で原稿を引き出してスキャンエリアから完全に取り除きます。<br><br><br>3. カバーを閉じます。<br>スキャナが使用可能状態に戻ったら、原稿を再度挿入し、スキャンを実行します。 |

| | |
|---|---|
| **スキャナの補正中のエラーメッセージ:**<br><br>***スティッチ調整に失敗しました*** | このメッセージは*補正*ウィザードの実行中に表示されることがあります。<br><br>1. 最も多い原因は、ガラスプレートの汚れや染みです。スキャンエリアを清掃し、スキャナを再起動してから、このガイドの「スキャナの補正」セクションの記載に従って補正を実施します。<br>2. スキャンエリアを清掃しても問題が解決しない場合は、光学経路内に異物が入り込んだことが原因である可能性があります。スキャンエリアから紙片などの異物を取り除いてください。ごく小さな異物であってもスキャナの調整機能を阻害します。<br>3. 問題が解決しない場合は、技術サービスプロバイダにお問い合わせください。 |
| **スキャナで自分自身がユーザとして認識されない** | スキャナの画面で利用可能なユーザをスクロールしても、自分自身がユーザとして表示されていません。以下の手順を試します。<br><br>1. PCにContex LINKをインストールし、ユーザー設定が正しいことを確認します。「Contex LINK スキャンクライアントソフトウェア」を参照してください。<br>2. スキャナを再起動して、LAN 上のすべてのユーザを再検出します。<br>3. 上記の操作に失敗した場合は、PC 上の Contex LINK ソフトウェアをアップデートしてから上記の手順を繰り返します。「*Contex LINK クライアントソフトウェアのアップデート*」を参照してください。 |

| | |
|---|---|
| **スキャンした後にスキャンファイルが見つからない** | PCに保存する操作を行ったのに、スキャンファイルが見つかりません。<br><br>1. 正しく実行されている場合、ファイルの保存先は次の場所になります。<br>a. スキャンして PC に保存：Contex LINK スキャンクライアントインタフェースの上部にあるフォルダアイコンを選択し、ファイルにアクセスします<br><br>2. ファイルの転送に失敗した場合は、そのファイルが Contex LINK エラーログにリストされます。表示するには、PC で Contex LINK を起動します。<br><br><br><br>*Contex LINK のエラーログ* |
| **スキャンして電子メール送信できない** | スキャンして電子メール送信することを選択し、正しい電子メールアドレスを入力しました。しかしエラーが表示され、スキャナの電子メールアイコンに赤いドットが示されています。<br>送信メールがスキャナで正しく設定されていない可能性があります。<br>-> *[システム]* -> *[電子メール]*に移動して、送信電子メールを正しく設定します。<br>パラメータの詳細については、「*電子メールサーバ設定の入力*」を参照してください。<br>**注記：サーバーへの接続・認証方法や必要な許可設定は、メール管理者またはサービス提供元に確認のうえ実施してください。** |

## スキャン結果に関連する問題

| 問題 | 考えられる原因と解決方法 |
|---|---|
| **スキャン：スキャンのカラーが原稿のカラーと異なる** | スキャナの完全補正を実行する必要があります。完全補正には、カラー調整が含まれます。<br><br>1. スキャンエリアを充分に清掃します。手順については、「スキャンエリアの清掃」を参照してください。<br>2. 補正ウィザードを実行し、このガイドの「*スキャナの補正*」セクションの記載に従います。<br>3. 完全補正を選択します。 |
| **コピー - 印刷された出力のカラーが原稿のカラーと異なる** | 1. *[メディア]*設定が、プリンタにロードされているメディアに一致することを確認します。詳細については、「コピー設定」を参照してください。設定が間違っている場合は、正しいメディアに修正します。<br>2. 正しい*[メディア]*設定を[コピー設定]で使用している場合は、新しいメディアプロファイルを再作成する必要があります。<br>a) スキャンエリアを充分に清掃します。手順については、「スキャンエリアの清掃」を参照してください。<br>b) 補正ウィザードを実行し、このガイドの「*スキャナの補正*」セクションの記載に従います。完全補正を選択します。<br><br>新しいメディアプロファイルを作成します。<br><br>c)  -> *[プリンタ]*を選択します。<br>d) *[メディアプロファイル]*を選択してメディアプロファイルウィザードを起動し、新しいメディアプロファイルを作成します。<br>e) 画面に表示される指示に従ってください。詳細については、「*プリンタのメディアプロファイルの設定*」を参照してください。 |
| **イメージの一部がスキャンされない** | 原稿が正しく挿入されていることを確認します。<br>1. 必ず原稿の中央をスキャナの中央の矢印に合わせます。<br>2. 印刷面を上にして挿入します。 |

| | |
|---|---|
| **イメージの両側に大きな余白がある** | スキャン設定の*[面積]*オプションに移動し、緑の実行ボタンを押します。<br><br>• *[全て]*の設定は、スキャナが原稿のサイズを無視し、スキャナ全体の幅をキャプチャすることを意味します。それによって、ドキュメントの両側に余白が追加されます。<br>• 挿入された原稿の幅のみをスキャンする場合は、*[自動]*を選択します。 |
| **イメージスティッチングに関する問題:**<br><br>**イメージセクションのずれ(センサーとセンサーの間 - ピクセルの重なり)** | 1. スキャナから原稿を取り出し、スキャナの補正を実行します。<br>2. *[機械的特性補正]*を選択してスティッチングエラーを補正します。<br>3. 補正を行っても問題が解決しない場合は、センサーの再調整が必要である可能性があります。技術サービスプロバイダにお問い合わせください。 |
| **スキャンしたイメージに原稿にはない 1 つ以上の細い垂直線(給紙方向)が現れる。** | 原因として多いのはガラスプレートの汚れです。ガラスプレートにほこりが付いていると、それが 1 か所であっても、場所が悪ければスキャン結果の全体に縞が発生することがあります。解決するには、次の手順を実行します。<br><br>1. このユーザーズガイドの「*清掃*」に記載された手順に従ってガラスプレートとローラーを清掃します。<br>2. ガラスプレートに付着するほこりのほとんどは、挿入される原稿によって持ち込まれます。原稿を糸くずの出ない乾いた布で拭いてほこりを取り除いてからスキャナに挿入してください。<br>3. 清掃しても問題が解決しない場合は、スキャナを補正します。スキャナはほこりがあった位置を記憶している可能性があるため、ほこりを除去した後で再補正を行う必要があります。<br>4. 清掃と補正を行っても問題が解決しない場合は、ガラスプレートに傷がないかどうか確認してください。ガラスプレートに傷が付いている場合は交換が必要です。サービスプロバイダから新しいガラスプレートを入手してください。このユーザーズガイドに記載された手順に従ってガラスプレートを交換してください。<br>5. キャリブレーションシートの破損も縞が現れる原因になります。新しいキャリブレーションシートを入手し、スキャナの再補正を行ってください。 |

# 付録

## 安全に関する重要な注意事項

これらの注意事項を全て読み、後で使用できるように保存してください。スキャナに付いている全ての警告および指示に従ってください。

**警告:**
**間違った種類のバッテリを挿入すると、爆発の危険があります。**
**使用済みのバッテリは指示に従って破棄してください。**




**警告:** スキャナの底面の穴に指を近づけないでください。

**A.** スキャナを不安定な場所、台車、またはテーブル上に置かないでください。本体が落下した場合、深刻な被害が生じる場合があります。

**B.** 清掃を行うときには、スプレーなどで液体クリーナーをスキャナ部品に直接付けないでください。液体クリーナーを布に付け、湿らせた布で部品を拭いてください。

**C.** ユーザにより交換可能な部品を**清掃**/交換**する前に、**必ずスキャナの電源をオフにし、電源ケーブルを抜いてください。

**D.** スキャナは、マーキングラベルに示された電源タイプで動作する必要があります。使用されている電源タイプが不明な場合は、販売代理店または地域の電力会社にご相談ください。

**E.** このスキャナは、IT、TT、および TN 配電システムで使用するためのもので、3 線アースプラグが付いています。このプラグは、アース端子付き電源コンセントにのみ差し込むことができます。これは設置時の安全のための仕様です。プラグをコンセントに差し込めない場合は、電気技師に連絡して、コンセントを交換してください。アースプラグの目的を無視した使い方をしないでください。

**F.** 電源ケーブルの上には何も置かないでください。コードが踏まれるような場所にはスキャナを置かないでください。

**G.** スキャナに延長コードを使用する場合は、延長コードに接続する製品の合計定格アンペアが延長コードの定格アンペアを超えないようにしてください。壁コンセントに差し込まれる全ての製品の合計定格が 15 アンペアを超えないようにしてください。

**H.** 背面または底面のキャビネットにあるスロットや開口部は、通気のために設けられています。これは、操作の信頼性を確保し、製品を過熱から保護するためのものです。これらの開口部をふさいだり覆ったりしないでください。ベッド、ソファ、じゅうたんなどの表面が柔らかいものの上に設置して、この開口部をふさいだり、覆ったりしないでください。この製品をラジエータや温風送風口の近くまたは上に設置しないでください。充分な通気ができない限り、スキャナをビルトイン式で設置しないでください。

**I.** スキャナ筐体のスロットから内部にどのような物体も押し込まないでください。危険な電圧ポイントに接触したり、部品をショートさせ、火災や感電の危険を生じる可能性があります。スキャナに液体をこぼさないようにご注意ください。

**J.** スキャナを自分で修理しようとしないでください。開閉に道具が必要なカバーを開けたり、または外すと、危険な高電圧のかかっている場所などのリスクにさらされます。そのような箇所の修理は指定サービスマンにお任せください。

**K.** 次の状況の場合は、スキャナのコードを壁コンセントから抜き、指定サービスマンにお任せください。

- 電源コードまたはプラグが損傷または摩滅している。
- スキャナに液体がこぼれた。
- スキャナが雨や水にさらされた。
- 操作指示に従ってもスキャナが正常に動作しない場合は、このマニュアルにある指示で説明されたコントロールのみを調整してください。このマニュアルに記載された以外のコントロールを不適切に調整すると、恒久的な損傷をきたす結果になり、この製品を正常な動作状態に復旧するためには、最善でも、資格を持つ技術者による大規模な作業が必要になります。
- スキャナが落下した、またはキャビネットが損傷した。
- スキャナの性能に、整備の必要性を示す著しい変化が見られる。

## 規則

### FCC 規則

**USA**

注記：この装置は、FCC 規則第 15 章に定められたクラスA デジタルデバイスに関する規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに適合するものと認定されています。これらの制限は、本機器を商業用の環境で使用する際に有害な電波障害を起こさないために規定されたものです。この装置は、電磁波を発生、使用、および外部に放射することがあり、取扱説明書どおりにインストールして使用しない場合は、無線通信に対する有害な電波妨害を起こす場合があります。本機器を居住地域で使用すると有害な電波障害を引き起こす可能性があります。この場合、ユーザは自費でこの電波障害を解決する必要があります。

警告：FCC 規則第 15 章 21 に基づいて、メーカーによって明示的に承認されていない変更や改造は、有害な電波妨害を起こす場合があり、装置を操作するユーザの権限は無効になります。

### CE 規則

**EU**

この製品はクラス A 製品です。家庭環境において、この製品は無線妨害を起こす可能性があり、その場合ユーザは適切な対処を求められる場合があります。

### VCCI 規則

**日本**

この装置は、VCCI:2008 (CISPR 22)に定められたクラス A 製品に関する規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに適合するものと認定されています。

### 有毒/有害物質または成分

**有毒有害物质或元素名称及含量**

| 部品名<br>部件名称 | 有毒/有害物質および成分有毒有害物质或元素 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 鉛(Pb)<br>铅 | 水銀(Hg)<br>汞 | カドミウム(Cd)<br>镉 | 六価クロム(Cr (VI))<br>六价铬 | 多臭素化ビフェニル(PBB)<br>多溴联苯 | 多臭素化ジフェニルエーテル(PBDE)<br>多溴二苯醚 |
| スキャナ<br>扫描仪 | O | O | O | O | O | O |
| | | | | | | |

O：この部品のすべての均質材料において、各有害物質の含有量がSJ/T11363-2006の規制値以下であることを示します。

表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求以下。

X：この部品に使用されている少なくとも 1 つの均質物質に含まれるそれぞれの有毒物質が SJ/T11363-2006 に定められた規制値を上回っていることを示す。

表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求。

(企業は、この欄に「X」の項目について実際の条件に基づく技術的な説明を記載することができる。)

企业可在此处根据实际情况对上表中打“ X”的技术原因进行进一步说明。)